

第51回
神奈川県消防救助技術指導会
実施案内



令和8年6月17日（水）

神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校

◇主催 神奈川県消防長会

◇後援 神奈川県・（一財）全国消防協会神奈川県支部

◇主管 神奈川県消防長会事務局

目 次

ページ

1	趣 旨	1
2	日 時	1
3	場 所	1
4	主催等	1
5	参会者	1
6	訓練種目	2
7	指導会次第	2
8	指導会進行予定	2
9	指導会訓練役員等各市町割当	2
10	指導会訓練役員及び運営員の業務、集合場所等	2
11	審査員（事前審査員、スターター、誘導員を含む。）及び 計時員種目別任務分担	2
12	指導会出場種目の制限等	2
13	第54回消防救助技術関東地区指導会及び第54回全国消防救助技術大会への 隊員選考	2～3
14	第54回消防救助技術関東地区指導会中止時の第54回全国消防救助技術大会への 選出方法	3
15	神奈川県消防救助技術指導会中止時の上位大会等への選出方法	3
16	中止時の判断及び連絡方法	3
17	訓練運営要領	3～4
18	指導会訓練実施要領等	4～8
19	訓練役員会議及び訓練施設の開放	8～9
20	提出事項等の回答期限	9
21	その他	9

別表 1	第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練進行次第	11
別表 2	第51回神奈川県消防救助技術指導会進行予定	12
別表 3	第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練役員等市町割当表	13
別表 4	訓練役員及び運営委員の業務、集合場所等	14
別表 5 - 1	陸上の部 審査員任務分担表	15
	陸上の部 事前審査員任務分担表	16
	陸上の部 スターター任務分担表	16
	陸上の部 誘導員任務分担表	17
別表 5 - 2	陸上の部 計時員任務分担表	18
別表 6 - 1	水上の部 審査員等任務分担表	19
別表 6 - 2	水上の部 計時員任務分担表	20
別表 7	第54回消防救助技術関東地区指導会出場人員割当表	21
別表 8	神奈川県消防救助技術指導会中止時の上位大会等への出場割当	22～23
別表 9	服装の指定	24
別図 1	会場全体図	25
別図 2	駐車場配置図	26～27
別図 3	会場詳細図	28
別図 4	防災管理棟内・総合防災センター内案内図	29～30
別図 5	開会式整列順序	31
別図 6	閉会式整列順序	32～33
別図 7	陸上・水上訓練施設概要	34～40
様式 1 - 1～9	種目別出場隊員名簿	41～49
様式 2	服装（同一仕様）に係る報告書（陸上の部）	50
様式 3	隊員変更届出書	51

第51回神奈川県消防救助技術指導会実施案内

1 趣 旨

神奈川県内各消防本部の消防職員が、平素鍛えた消防救助技術の成果を発表するとともに、各消防本部相互間の防災連帯意識の高揚を図り、併せて第54回消防救助技術関東地区指導会及び第54回全国消防救助技術大会への出場者の選考を兼ねるものです。

2 日 時

令和8年6月17日（水）9時30分～16時15分（雨天決行）

〔予備日 令和8年6月18日（木）同時間〕

3 場 所

神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校（厚木市下津古久280）

4 主催等

- (1) 主 催 神奈川県消防長会
- (2) 後 援 神奈川県
（一財）全国消防協会神奈川県支部
- (3) 主 管 神奈川県消防長会事務局

5 参会者

- (1) 来 賓 神奈川県知事
（公財）神奈川県消防協会長
神奈川県消防学校長
（一財）消防試験研究センター神奈川県支部長
- (2) 指導会委員
 - ア 委員 長 神奈川県消防長会長
 - イ 副委員 長 神奈川県消防長会理事
 - ウ 委 員 会員消防長
- (3) 指導会役員
 - ア 審 判 長 県央地区（厚木市消防長）
 - イ 陸上審判部長 川崎市消防局警防部長
 - ウ 水上審判部長 横浜市消防局警防部長
 - エ 運 営 委員 長 川崎市消防局総務部長
- (4) 参加隊員
- (5) 訓練役員（審査員、計時員、招集員）
- (6) 運 営 員
- (7) 随 員
- (8) 一般参会者

6 訓練種目

〔陸上の部〕

- (1) はしご登はん
- (2) 引揚救助
- (3) ほふく救出
- (4) ロープブリッジ渡過
- (5) ロープブリッジ救出
- (6) ロープ応用登はん
- (7) 障害突破

〔水上の部〕

- (1) 溺者搬送
- (2) 人命救助
- (3) 水中結索
- (4) 溺者救助
- (5) 水中検索救助

7 指導会次第

別表1「第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練進行次第」のとおりとします。

8 指導会進行予定

別表2「第51回神奈川県消防救助技術指導会進行予定」（以下「別表2」という。）のとおりとします。

9 指導会訓練役員等各市町割当

別表3「第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練役員等市町割当表」のとおりとします。

10 指導会訓練役員及び運営員の業務、集合場所等

別表4「訓練役員及び運営員の業務、集合場所等」のとおりとします。

11 審査員（事前審査員、スターター、誘導員を含む。）及び計時員種目別任務分担

別表5-1「陸上の部審査員任務分担表」等、別表5-2「陸上の部計時任務分担表」、別表6-1「水上の部審査員等任務分担表」及び別表6-2「水上の部計時任務分担表」のとおりとします。

12 指導会出場種目の制限等

出場は1隊員2種目（1種目1回）以内とし、同一種目に各消防本部から3名又は3チームまでとします。

13 第54回消防救助技術関東地区指導会及び第54回全国消防救助技術大会への隊員選考

(1) 第54回消防救助関東地区指導会への出場割当数

別表7「第54回消防救助技術関東地区指導会出場人員割当表」のとおりです。

なお、第54回全国消防救助技術大会開催の動向により、関東地区の出場枠に変更が生じた場合には、改めてお知らせすることとします。

(2) 第54回消防救助関東地区指導会への選出

各種目については所要時間以内で、かつ、第54回全国消防救助技術大会実施要領（以下「実施要領」という。）に定める「審査」に抵触しない高順位の者から選出します。同順位の場合は、高年齢の隊員等（チームの場合は年齢合算の高年齢チーム）を上位としますが、年齢（合算）が同年齢の場合は、各隊員等の代表者による抽選により上位を決定します。

また、前述の選出で割当数に満たなかった場合は、同一消防本部から複数の選出も止むを得ないものとし、上記に選出した以外の高順位の者から順次選出するものとします。

なお、陸上の部・基礎訓練については、第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者は、全国消防救助技術大会実施計画（第3・6出場制限(2)）により全国消防救助技術大会へ出場することができないため選出いたしません。

14 第54回関東地区指導会中止時の第54回全国消防救助技術大会への選出方法

「第51回神奈川県消防救助技術指導会」の結果に基づき、成績上位の隊員等から選出します。

15 神奈川県消防救助技術指導会中止時の上位大会等への選出方法

別表8「神奈川県消防救助技術指導会中止時の上位大会等への出場割当」のとおりとします。

16 中止時の判断及び連絡方法

荒天その他の大規模災害等により延期又は中止する場合、当日7時00分までに決定し、神奈川県消防長会事務局から各地区長消防本部宛て連絡します。

なお、予備日で実施の場合も上記と同様とします。

17 訓練運営要領

(1) 会場案内

別図1「会場全体図」（以下「別図1」という。）のとおりとします。

(2) 駐車場

ア 駐車場の開門は、7時15分とします。これ以前に入場はできませんので、御注意ください。

イ 大会関係者の駐車場は、第1、第2及び第3駐車場です。一般来場者は第4駐車場を御利用ください。（別図2「駐車場配置図」参照）

ウ 訓練役員及び運営員等は、必ず指定された駐車場を利用してください。車両は事前に登録され、駐車券が発行されます。駐車券に記載されている駐車場に停めてください。

エ 一般来場者用として第4駐車場を準備していますが、第4駐車場が満車の場合は、ジアウトレット湘南平塚（第5駐車場）に駐車が可能ですので、御利用ください。ただし、シャトルバスの運行はありません。徒歩30分程度となります。

※近隣商業施設駐車場への無断駐車及び会場周辺での路上駐車が毎年問題となっています。そのような行為は絶対にしないでください。

(3) 隊員受付及び隊員変更

隊員受付は、受付場所（別図3「会場詳細図」（以下「別図3」という。）参照）で**8時30分から9時00分**までとします。

また、隊員の変更手続きについては、隊員変更届出書（指定様式）により指導会当日**8時45分**までに受付で行ってください。

(4) ゼッケンの配付及び回収について

ゼッケンの配付は受付時にコンテナボックス又は紙袋に入れて本部ごとに配布します。使用済みゼッケンは全出場種目終了後、各本部でコンテナボックス又は紙袋に入れた状態でまとめ、受付へ返却してください。

(5) 会場施設

ア 救護所（「別図3」参照）

防災管理棟1Fに設置します。

イ 更衣所（「別図3」参照）

(ア) 陸上の部更衣所

陸上の部に出場する隊員の更衣所は屋内訓練棟内です。

(イ) 水上の部及び女性隊員更衣所

水上の部に出場する隊員及び女性隊員の更衣所は、水上会場内のロッカー室です。

ウ トイレ（「別図3」、別図4「防災管理棟内・総合防災センター内案内図」（以下「別図4」という。）参照）

関係職員は防災管理棟1F（屋外）・2F・3F、屋内訓練棟、水上会場及び仮設トイレを使用してください。総合防災センター1F・2Fのトイレは一般来場者専用となりますので関係職員は使用しないでください。

エ 授乳室（「別図3」、「別図4」参照）

一般来場者が必要な場合は、防災管理棟2F講師控室（1）及び総合防災センター体験フロア2階のコミュニケーションルームを案内してください。

オ 控室等（「別図4」参照）

控室等は下表のとおりです。防災管理棟内に設置します。

控室名	設置場所
来賓控室	防災管理棟2F（講師控室（2）、会議室）
消防長・審判長・審判部長控室	防災管理棟3F（中会議室）
男性職員専用控室	防災管理棟3F（大会議室）
女性職員専用控室	防災管理棟3F（第2中会議室）
休憩室（一般来場者除く）	防災管理棟3F（講堂）

(6) 消防本部からの服装及び持込用具等

各種目に係る消防本部の持込用具等は、「実施要領」のとおりです。

なお、持ち込んだ服装及び用具等（以下「持込用具等」という。）が不良であった場合の代替持込用具等（カラビナを除く）は用意しません。

(7) 服装等

別表9「服装の指定」のとおりとします。

(8) 昼食

弁当販売等はいたしませんので、各自で御準備をお願いいたします。

18 指導会訓練実施要領等

(1) 第51回神奈川県消防救助技術指導会は「実施要領」及び「全国消防救助技術大会実施要領質疑応答集」に準じて実施します。

(2) 開会式要領

ア 隊員の開会式に係る集合時間

開会式参加隊員は、各本部指揮者1名及び参加隊員10名とし、事前に選任してください。各本部のテント裏に整列した後、**9時30分**までに開会式隊形に消防本部（局）ごとに整列完了とした状態にしてください。プラカードは事前に所定の位置に配置しておきます。（別図5「開会式整列順序」（以下「別図5」という。）参照）

なお、隊員はアポロキャップを着用し、ゼッケン及び革手袋は着用しないでください。また、消防本部旗を携行する必要はありません。

イ 陸上の部の「はしご登はん」及び「引揚救助」並びに水上の部の「溺者搬送」に出場する隊員は、開会式に参加せず、「別表2」の進行予定に定める時間までに、陸上の部は隊員招集場所（「別図3」参照）に集合し、水上の部はウォーミングアップの準備をしてください。

ウ 開会式隊形の整列要領

整列順序及び隊形は、「別図5」のとおりとします。

エ 国旗掲揚

指導会委員及び各本部指揮者は「挙手注目」、その他の者は「注目」の敬礼とします。

オ 隊員宣誓

アナウンスがありましたら、平塚市宣誓隊員（平塚市指揮者）は、宣誓位置へ移動し、宣誓を実施してください。宣誓隊形は「別図5」のとおりとします。

カ 隊員退場

隊員の退場は、開会式終了後、「各本部指揮者の指示により退場してください」のアナウンスで、本部ごとに両翼から各本部テントに向かい退場してください。

キ 雨天時の集合要領

雨天時、本部テント前の整列が困難と判断した場合、見学テント内に整列して開会式を実施します。場内放送により連絡しますので、速やかに各本部の見学テント内に整列してください。

(3) 閉会式の整列要領（別図6「閉会式整列順序」（以下「別図6」という。）参照）

ア 閉会式参加隊員は、各本部指揮者1名及び参加隊員10名とし、事前に選任してください。最終種目（障害突破）終了後、本部ごとにテント裏に整列し、待機してください。「各本部指揮者の指示により閉会式隊形に集合してください」のアナウンスで、開会式と同様の隊形位置にかけ足で整列してください。その他については、開会式要領に準じます。プラカードは事前に所定の位置に配置しておきます。

イ 陸上の部「障害突破」の出場隊員（1位の受賞隊員以外）は閉会式に参加せず、引き続き資機材撤収及び更衣等を実施してください。

ウ 閉会式時に表彰式を行います。各種目1位の受賞隊員は、最終種目「障害突破」終了時までは陸上隊員招集場所に集合し、指揮者の指示により、表彰隊形に整列してください。

(4) 訓練の進行

ア 隊員の事前点検

(ア) 隊員は、「別表2」の招集時間までに準備を整え、隊員招集場所に時間厳守で集合してください。

なお、招集時間に集合できなかったチーム又は隊員は、事前点検の順番を後にする場合があります。

ズボンの横縫目のない救助服を着用している訓練隊員については、事前審査時に「ズボン横縫目」の印としてチョークで体側中央部に表示するとともに、バンドに白のビニールテープを貼付します。（「実施要領」第3審査上の統一事項 2陸上の部に掲げる『（3）座席』及び『（4）命綱』を作成する必要のある訓練隊員のみ）

(イ) 点検の結果、不良等を指摘された場合は、指示に従い是正してください。カラビナ交換の指示を受けた場合は訓練進行を考慮し、自隊での交換は認めませんので、事務局で準備したカラビナを使用して頂きます。

イ 訓練準備の設定時間

各隊員・チームは、実施順番になりましたら、係員の指示に従い、下表の訓練準備時間内に各用具等の設定を完了してください。

用具等の設定時間が超過した場合は、訓練進行に合わせて隊員紹介及びスタートがかかる場合がありますので、訓練準備時間を厳守してください。

また、訓練準備時間が示されていない種目については、係員の指示に従い準備を行ってください。

〔訓練準備時間〕

種 目 別		設 定 時 間
陸 上	水 上	
ロープブリッジ救出	溺者救助 人命救助 水中検索救助	1 分
障害突破		2 分 30 秒
引揚救助		3 分

(注) 1 予備の置き台等を用意した場合、訓練場所（コース上）では、用具のずれ（位置）確認のみとし、設定時間を設けないものとします。

2 上記の訓練種目以外については、速やかに準備してください。

ウ 隊員の紹介

訓練開始前に消防本部名をコールしますので、隊員（連携訓練にあつては代表者のみ）は本部席に向かって、右手を挙げて答えてください。

エ スタート準備時間（陸上の部訓練のみ）

訓練進行を円滑に進めるため、消防本部の紹介後、次の順序に沿って、下表に定める時間内にスタート準備を整えるようお願いいたします。

(ア) 消防本部の紹介後、審査員の「スタート準備」の指示で準備を開始します。

(イ) 準備時間内にスタート準備を整え、「準備よし」の合図をしてください。

なお、スタート準備が整っていない場合でも、準備時間超過後は、自動的に審査員がスターターに合図を送り、訓練を開始します。

〔スタート準備時間〕

訓練種目	準備時間
はしご登はん 引揚救助	20秒以内
ほふく救出 ロープブリッジ救出	
ロープ応用登はん 障害突破	30秒以内
ロープブリッジ渡過	

オ 用具等撤収

訓練が終了しましたら、次の実施隊員の準備に支障とならないよう、迅速に用具等を撤収し、役員の指示があるまでの間、指定した場所で待機して下さい。

(5) 訓練結果の発表

ア 成績表示板への掲示及び川崎市ホームページ上に掲載します。

イ 種目ごとに結果が確定次第、進行アナウンスで発表するとともに、各消防長（局

長) あて配布します。

ウ 最終種目(障害突破)については、閉会式終了後に配布します。

(6) 表彰

ア 表彰式は、閉会式時に行います(「別図6」参照)。

イ 陸上表彰、水上表彰の順で種目ごとに1位を表彰します。表彰式参加隊員は各種目1位の個人・チーム隊員の全員とします。

なお、同得点のときはタイム順とし、同タイムの場合は高年齢の隊員等(チームの場合は年齢合算の高齢チーム)を上位とします。

ウ 受賞隊員は係員の指示により、開会式の服装で陸上隊員招集場所に集合してください。

エ 受賞の指揮者は、陸上の部は「はしご登はん」、水上の部は「溺者搬送」の受賞隊員が指揮者となり行うものとします(指揮者は「挙手注目」、その他の隊員は「注目」の敬礼)。

オ 賞状の氏名の文字について、PC筆耕ソフトで対応できない場合は、常用漢字とさせていただきます。

カ 各種目2位~3位の賞状及びメダルは、当日受付にて順位確定後に授与します。

キ 賞状の授与枚数にあつては、各種目(基礎訓練・連携訓練)1枚とします。

(7) 訓練の判定

ア 訓練の判定に対する抗議は一切受けません。

イ 減点内容の開示方法について(平成12年8月22日於:秦野市、神奈川県消防長会定例会で決定)

減点内容の開示を求める場合は、開催日から30日以内に文書をもって神奈川県消防長会事務局宛てに照会し、事務局は「実施要領」に定める審査表の審査基準項目で示す内容を、当該消防本部に文書で回答するものとします。

なお、審査員等に直接問い合わせることは行わないでください。

(8) 訓練施設の特例

訓練施設については、次の部分に「実施要領」の基準と違いがあります(別図7「訓練施設概要」(以下「別図7」という。)参照)。

ア 陸上施設

(ア) A塔

a はしご登はん(写真1参照)

はしご登はん1段目が、30センチメートルに対し、27センチメートルに取り付けられています。

b ロープ応用登はん(写真2参照)

懸垂ロープの懸垂点が、グラウンドレベルから17.0メートルに対し、18.2メートルとなっています。

c 障害突破(写真3参照)

応急ブリッジ用ステージの危険ゾーン幅が、100センチメートルに対し、80センチメートルとなっています。

(イ) B・C塔

a 引揚救助(写真4参照)

(a) 塔上施設において、自己確保用パイプの径が10センチメートル、後部支持パイプの径が8センチメートルとなっています。

(b) 塔上開口部幅の内寸が180センチメートルに対し、170センチメートルになっ

ています。

- (c) 塔上に安全ネットがなく、防護柵が設けてあります。
- (d) 塔上のステージ奥行きが300センチメートルに対し、320センチメートルになっています。
- (e) 塔上開口部床面に対し、開口部両側床面が30センチメートル後退していません。
- (f) ポール高さが150センチメートルに対し、145センチメートルになっています。また、頭頂部に白旗がついていません。
- b 障害突破・ほふく救出（写真5参照）
煙道の床高がグラウンドレベルから23センチメートル高くなっています。
- c ロープブリッジ渡過・ロープブリッジ救出（写真6参照）
単管パイプの直径は8センチメートルになっています。

イ 水上施設

- (ア) プール施設概要（図1参照）
施設は、50メートルプールを使用し、各コース幅は2メートルです。
- (イ) プール断面図（図2参照）
プールの水深は、両端が1.6メートルで、中央が2.0メートルとなっています。
- (ウ) スタート台（写真8参照）
飛び込み台の形状は、高さ30センチメートル、幅40センチメートル、奥行き45センチメートルです。
- (9) 緊急用資機材の配置
陸上施設B・C塔下に安全管理対策のため三連はしごを準備します。
- (10) 会場の撤収
指導会訓練役員及び運営員は、閉会式終了後、担当班の撤収が完了次第、互いに協力して会場内の全ての机、イス、セーフティコーン、ブルーシート等の撤収作業を実施してください。
- (11) 気象状況等による特例
 - ア 陸上の部訓練
 - (ア) 雨天時は、指導会役員の判断により、訓練中であっても引揚救助訓練に限り安全マットに滑り止めカバーを被せます。（「別図7」写真7参照）
 - (イ) 強風時は、引揚救助訓練の懸垂ロープが降下板から外れないように対応します。
 - イ 水上の部訓練
水上の部訓練については、雨天及び強風時の特例はありません。

19 訓練役員会議及び訓練施設の開放

(1) 指導会開催に係る訓練役員会議について

5月28日（木）14時00分から16時30分まで、運営の細部にわたる調整を図るため、陸上・水上審査員（事前審査員・スターター・誘導員含む）を対象に訓練役員会議を開催します。

(2) 訓練施設の開放について

ア 訓練施設の開放については、6月2日（火）及び6月3日（水）10時00分から15時00分までです。施設開放以降の施設は一切使用できません。

イ 開放日に訓練を希望する消防本部は、全国消防長会情報管理システムにより、回答してください。

- ウ 訓練に使用する資機材は、各消防本部で準備してください。
安全マット、検索通路のポール及びトラロープは神奈川県消防長会事務局で準備します。
- エ 訓練施設が重複する訓練については、各消防本部の訓練責任者が調整し実施してください。
- オ 訓練開始時及び終了時、訓練施設の準備・撤収等に御協力ください。

20 提出事項等の回答期限

- (1) 次の事項について全国消防長会情報管理システム及び指定様式にて回答をお願いします。
- (2) 出場隊員名簿に入力する氏名で、外字に該当する場合は、類似の漢字を使用し、外字での入力を行わないでください。（成績発表時は類似の漢字を使用させていただきます。）
- (3) 回答いただいた隊員の個人情報については、隊員名簿等に記載することとなりますので、予め御了承のうえ提出をお願いします。

【全国消防長会情報管理システム】

ア 出場予定チーム数	5月22日（金）正午まで
イ 訓練役員名簿	5月22日（金）正午まで
ウ 運営員名簿	5月25日（月）正午まで
エ 参会者等調査表	5月25日（月）正午まで
オ 訓練実施希望調査表	5月25日（月）正午まで

【指定様式】

ア 種目別出場隊員名簿	（様式1）	5月25日（月）正午まで
イ 服装（同一仕様）に係る報告書	（様式2）	5月25日（月）正午まで
ウ 隊員変更届出書	（様式3）	指導会当日

21 その他

- (1) 会場内の全てにわたり、**禁酒**です。
- (2) 喫煙は指定場所（第2訓練棟屋上）で行ってください。※神奈川県消防学校が定める喫煙ルールに従ってください。（「別図1」参照）
- (3) ごみ箱は配置しませんので、必ず各自でお持ち帰りください。
- (4) 指定された場所以外、会場内のテント類の設置は禁止します。
- (5) 貴重品は各自責任をもって管理してください。
- (6) 神奈川県消防学校の宿泊棟へは入らないでください。
- (7) ペーパーレス化のため隊員名簿は製本いたしません。川崎市ホームページ上に掲載しますので、会場内に掲示する二次元コードにて閲覧してください。
- (8) 当日、風邪症状等の体調不良がある場合には、参加または来場をお控えください。
また、人が多く集まる場所での大声での会話はお控えいただき、必要に応じてマスクの着用に御協力ください。

お願い

消防救助技術指導会会場（神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校）
への問い合わせは御遠慮ください。

お問い合わせ先【 川崎市消防局 】

運営関係

【神奈川県消防長会事務局】 大井・辻

Tel : 044 (223) 2510 Mail: 84syomu@city.kawasaki.lg.jp

訓練関係

【川崎市消防局警防部警防課】 吉田・飯岡

Tel : 044 (223) 2612

第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練進行次第

【開会式】

9:30	隊員整列完了	9:40	来賓紹介
9:31	開会宣言	9:41	審判長指示
9:32	黙とう	9:43	隊員宣誓
9:33	国旗掲揚	9:45	隊員退場
9:35	あいさつ	9:48	安全管理報告

【訓練順序・開始予定時間】

陸上の部		水上の部	
9:55	① はしご登はん	10:00	ウォーミングアップ（溺者搬送）
10:00	② 引揚救助	10:10	ウォーミングアップ（全種目）
		10:50	① 溺者搬送
11:45	③ ほふく救出	11:20	② 人命救助
12:00	④ ロープブリッジ渡過	11:50	③ 水中結索
		12:10	休憩
13:10	⑤ ロープブリッジ救出	13:00	④ 溺者救助
13:15	⑥ ロープ応用登はん		
14:00	⑦ 障害突破	13:35	⑤ 水中検索救助
15:20	特別演技：川崎市消防音楽隊		

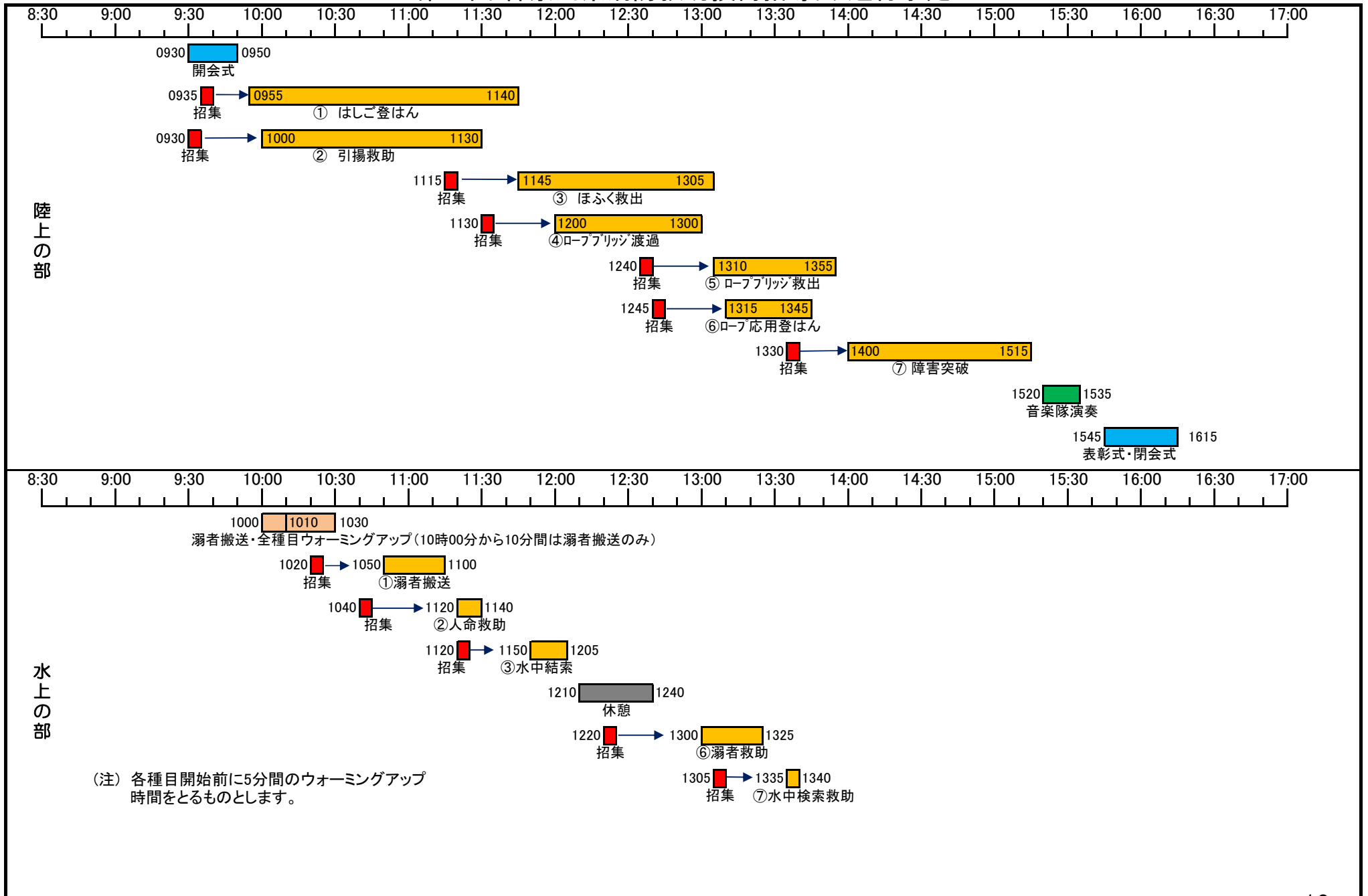
【表彰式・閉会式】

15:45	隊員集合	16:10	国旗降納
15:50	表彰：陸上・水上12種目	16:12	閉会宣言
16:05	講評	16:15	解散

- 注1 訓練の進行状況により訓練時間が早まる場合等、随時場内放送により連絡します。
- 注2 水上の部のウォーミングアップについては、係員の指示に従ってください。
なお、各実施種目の前に行うウォーミングアップ（5分間）については、用具の持ち込みは禁止します。
- 注3 水上の部で使用するマネキンの事前点検は、隊員受付を完了した時点から順次行いますので、速やかに事前点検場所へ搬入してください。（9時00分まで）

第51回 神奈川県消防救助技術指導会 進行予定

別表2



第51回神奈川県消防救助技術指導会訓練役員等市町割当表

別表3

本部名		横浜市	川崎市	横須賀市	藤沢市	平塚市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	厚木市	大和市	秦野市	伊勢原市	座間市	海老名市	綾瀬市	大磯町	葉山町	湯河原町	箱根町	二宮町	愛川町	本部小計	初任生	総合計
審査員	陸上	14	19	5	3	1	1	2	1	1	6	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	67	6	73
	水上	7	8	2	2	1	1	1	1	1	2								1						27	2	29
計時員	陸上	3	3	2	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1		1				1	28		28
	水上	3	3	1	1	1	1	1			2		1	1	1	1	1								18		18
招集員	陸上	2	3						1			1							1						8	10	18
	水上	1	1																						2	8	10
役員小計		30	37	10	8	4	4	5	4	3	13	4	3	3	3	3	3	3	2	2	1	2	1	2	150	26	176
安全管理	陸上	2	4	1	1	1	1	1	1		1	1	1			1									16		16
	水上	2	2		1						1															6	
訓練施設	陸上	19	12		1	1	1	1	1		1		1	1	1		1	1			1				43	48	91
	水上	9	8								1														18	21	39
記録		2	6																						8		8
連絡		4	6																						10	68	78
総務		1	4	1		1		1			1	1													10	24	34
受付		3	3					1	1		1														9	8	17
進行			8																						8		8
通信			2																						2		2
表彰		4	6						0																10	8	18
車両・駐車場		2	3	1					1		2	1	1	1			2								14	40	54
会場設営		17	14	1	1	2	1	2	1		4		1	1									1		46		46
広報		1	3	1	1			1			1	1													9		9
救護			3																						3		3
運営小計		66	84	5	5	5	3	7	5	0	13	4	4	3	1	1	3	1	0	0	1	1	0	0	212	217	429
合計		96	121	15	13	9	7	12	9	3	26	8	7	6	4	4	6	4	2	2	2	3	1	2	362	243	605

(注)1 安全管理班(陸上・水上)及び訓練施設(陸上)については救助隊従事者又は経験者をお願いします。

2 訓練施設(水上)については潜水士免状保持者をお願いします。(横浜9人、川崎4人、相模原1人)

3 会場設営班については前日のみの派遣となります。(横浜市、川崎市を除く)

4 総務班については救助隊従事者又は経験者をお願いします。(横浜市、川崎市を除く)

【前日派遣】

訓練施設	陸上	5	9																						14
	水上		8																						8
総務		2	2																						4
車両・駐車場		1	3																						4
会場設営		14	17	1	1	2	1	2	1		4		1	1									1		46
計		22	39	1	1	2	1	2	1		4		1	1									1		76

訓練役員及び運営員の業務、集合場所等

班 別	業 務 内 容	大会当日の集合時間・集合場所	
審 査	事前審査、スターター、誘導、訓練審査 審判長等との連絡調整等	8時30分	陸上の部：陸上エリア北側 訓練役員席 水上の部：水上エリア 訓練役員席
計 時	各訓練種目の計時等	8時30分	陸上エリア北側 訓練役員席
招 集	訓練出場隊員・受賞者の招集、確認 表彰担当者への引き渡し等	8時00分	ウォーミングアップエリア 隊員招集場所
受 付	来賓・消防長・訓練出場隊員等の受付、案内 受賞者への物品配布、本部席への成績表配付等	8時00分	防災管理棟東側 本部受付
表 彰	表彰に伴う説明、誘導、介添え、連絡、筆 耕	8時30分	防災管理棟 1階 倉庫内
安全管理	訓練施設及び選手の点検、安全管理等	8時30分	陸上エリア南側 訓練役員席
訓練施設	訓練資機材準備、訓練施設等の点検、保守、 管理、撤去	7時30分 7時30分	陸上の部：陸上エリア A塔前 水上の部：水上エリア 訓練役員席
駐 車 場	来場車両の駐車誘導、整理	7時00分 8時15分	第2～4駐車担当：車庫棟前 第1駐車担当：第1駐車場
救 護	負傷者等の応急手当、救急要請	9時00分	防災管理棟 1階 救護所
会場設営	陸上会場、水上会場等の設営、点検、撤去 会場周辺警備	8時00分	防災管理棟東側 総合案内前
総 務	指導会の運営、各種調整、渉外、会場周辺警 備、国旗掲揚、降納	7時00分 8時30分	事務局：陸上エリア 陸上本部 運営職員：陸上エリア 陸上本部
広 報	報道機関の対応 写真、ビデオの撮影 ホームページ掲載等	9時00分	防災管理棟 1階 倉庫内
進 行	進行、案内、放送、号令	8時00分	陸上エリア 陸上本部
通 信	通信統制、音響設備設定、確認	7時00分	陸上エリア 陸上本部
連 絡	各班への連絡、成績表等の集配 進行状況の連絡等	8時00分	防災管理棟東側 本部受付前
記 録	審査表等の回収、結果の集計印刷 審判長への報告等	8時00分	防災管理棟 1階 記録班集体計室
演 奏	特別演技、表彰式、閉会式での演奏	14時00分	陸上エリア 音楽隊席

陸上の部 審査員任務分担表

区分	本 部 名	担 当	訓練種目						
			はしご登はん	引揚救助	ほふく救出	ロープブリッジ渡過	ロープブリッジ救出	ロープ応用登はん	障害突破
主任審査員	川崎市(班長)	(主審1)	○	○	○	○	○	○	○
	川崎市	(主審2)		1		1	1		
	横須賀市	(主審3)		2		2	2		
	横浜市	(主審4)	1			3	3		
	相模原市	(主審5)	2			4	4		
	川崎市	(主審6)			1			1	1
	横浜市	(主審7)			2			2	2
一般審査員	川崎市	(審1)		○				○	○
	茅ヶ崎市	(審2)		○				○	○
	藤沢市	(審3)		○				○	○
	平塚市	(審4)		○				○	○
	相模原市	(審5)		○			○		○
	横浜市	(審6)		○			○		○
	大和市	(審7)		○			○		○
	綾瀬市	(審8)		○			○		○
	横浜市	(審9)		○			○		
	伊勢原市	(審10)		○			○		
	相模原市	(審11)		○			○		
	厚木市	(審12)		○			○		
	川崎市	(審13)	○				○		
	鎌倉市	(審14)	○				○		
	海老名市	(審15)	○				○		
	小田原市	(審16)	○				○		
	横浜市	(審17)			○		○		
	二宮町	(審18)			○		○		
	愛川町	(審19)			○		○		
	横須賀市	(審20)			○		○		
	川崎市	(審21)			○				○
	湯河原町	(審22)			○				○
	葉山町	(審23)			○				○
	秦野市	(審24)			○				○
	横浜市	(審25)				○			○
	座間市	(審26)				○			○
	川崎市	(審27)				○			○
	逗子市	(審28)				○			○
	横須賀市	(審29)				○			○
	箱根町	(審30)				○			○
	大磯町	(審31)				○			○
	相模原市	(審32)				○			○

(注) 1 主任審査員表内の数字は、担当コースを示します。

2 一般審査員表内の○は、審査担当を示します。

陸上の部 事前審査員任務分担表

訓練種目		はしご登はん	引揚救助	ほふく救出	ロープブリッジ渡過	ロープブリッジ救出	ロープ応用登はん	障害突破
本部名	担当							
川崎市 (班長)	(事前1)	1			1			1
横浜市	(事前2)	2			2			②
藤沢市	(事前3)		①		3			2
川崎市	(事前4)		1		4			2
横浜市	(事前5)		1			1		
厚木市	(事前6)		②			2		
川崎市	(事前7)		2			3		
横浜市	(事前8)		2			4		
川崎市	(事前9)			①			1	
横須賀市	(事前10)			1			2	
川崎市	(事前11)			②				①
相模原市	(事前12)			2				1

(注) 数字は事前審査担当コースを表し、○は各コースの班長を表します。

陸上の部 スターター任務分担表

訓練種目		はしご登はん	引揚救助	ほふく救出	ロープブリッジ渡過	ロープブリッジ救出	ロープ応用登はん	障害突破
本部名	担当							
川崎市 (班長)	(スターター1)	○			○			○
初任生	(補助1)	○			○			○
初任生	(補助2)	○			○			○
横浜市	(スターター2)		○			○		
初任生	(補助3)		○			○		
初任生	(補助4)		○			○		
相模原市	(スターター3)			○			○	
初任生	(補助5)			○			○	
初任生	(補助6)			○			○	

(注) ○はスターター担当種目を表します。

陸上の部 誘導員任務分担表

本部名	氏名	訓練種目						
		はしご登はん	引揚救助	ほふく救出	ロープブリッジ渡過	ロープブリッジ救出	ロープ応用登はん	障害突破
川崎市(班長)	(誘導 1)		待	待			待	待
川崎市	(誘導 2)	待			待	待		
横浜市	(誘導 3)		次B	次B		次B		次B
横浜市	(誘導 4)		次C	次C		次C		次C
横浜市	(誘導 5)		B	B		B		B
藤沢市	(誘導 6)		C	C		C		C
横須賀市	(誘導 7)		後B	後B		後B		後B
小田原市	(誘導 8)		後C	後C		後C		後C
川崎市	(誘導 9)	次			次		次	
横浜市	(誘導 10)	A			B		A	
川崎市	(誘導 11)	後			後		後	

※「A」、「B」又は「C」の印は、訓練塔を示したもの

- 注 1 「待」は、事前審査場所から訓練隊員待機場所までの誘導指示を担当します。
- 2 「次」は、訓練隊員待機場所から次番待機場所までの誘導指示を担当します。
- 3 「A、B又はC」は訓練隊員の次番待機場所から訓練場所への送り出し及び退場を担当します。
- 4 「後」は、訓練終了隊員を訓練終了隊員待機場所までの誘導を担当します。

陸上の部 計時員任務分担表

班	本部名	担当	実施種目						
			① はしご登はん	② 引揚救助	③ ほふく救出	④ ロープブリッジ渡過	⑤ ロープブリッジ救出	⑥ ロープ応用登はん	⑦ 障害突破
陸上統括	川崎市	(計時1)	○	○	○	○	○	○	○
班長A	川崎市	(計時2)	○			○			○
班長B	横浜市	(計時3)		○			○		
班長C	相模原市	(計時4)			○			○	
1	横須賀市	☆ (計時5)							
	厚木市	(計時6)	○			○	○		
	川崎市	(計時7)							
2	藤沢市	☆ (計時8)							
	大和市	(計時9)	○			○	○		
	横浜市	(計時10)							
3	平塚市	☆ (計時11)							
	秦野市	(計時12)		○				○	
	箱根町	(計時13)							
4	鎌倉市	☆ (計時14)							
	伊勢原市	(計時15)		○				○	
	相模原市	(計時16)							
5	小田原市	☆ (計時17)							
	座間市	(計時18)			○				○
	横須賀市	(計時19)							
6	茅ヶ崎市	☆ (計時20)							
	海老名市	(計時21)			○				○
	横浜市	(計時22)							
7	逗子市	☆ (計時23)							
	綾瀬市	(計時24)				○	○		
	藤沢市	(計時25)							
8	葉山町	☆ (計時26)							
	愛川町	(計時27)				○	○		
	相模原市	(計時28)							

(注) ☆印は主任班員（計時表の記載者）を示す。

○印は担当種目を示す。

水上の部 審査員等任務分担表

本部名	氏名	訓練種目	溺者搬送	人命救助	水中結索	溺者救助	水中検索救助	備考
川崎市(班長)	主任審査員1		○	○	○	○	○	主任審査員
横浜市	主任審査員2		3	3	3	3	3	
相模原市	主任審査員3		5	5	5	5	5	
川崎市	主任審査員4		7	7	7	7	7	
川崎市	審査員1		○		○		○	審査員
横浜市	審査員2		○		○		○	
藤沢市	審査員3			○		○		
川崎市	審査員4			○		○		
横須賀市	審査員5		○		○		○	
平塚市	審査員6		○		○		○	
横浜市	審査員7			○		○		
逗子市	審査員8			○		○		
小田原市	審査員9		○		○		○	
相模原市	審査員10		○		○		○	
茅ヶ崎市	審査員11			○		○		
川崎市	審査員12			○		○		
川崎市	スターター1		○		○		○	スターター
初任生	補助1		○		○		○	スターター補助
横浜市	スターター2			○		○		スターター
初任生	補助2			○		○		スターター補助
横浜市	事前審査員1		○	○		○	○	事前審査員
横須賀市	事前審査員2		○	○		○	○	
川崎市	事前審査員3		○	○		○	○	
大磯町	事前審査員4			○	○	○		
横浜市	事前審査員5			○	○	○		
藤沢市	事前審査員6			○	○	○		
川崎市	誘導員1		○	○			○	誘導員
鎌倉市	誘導員2			○	○		○	
横浜市	誘導員3		○		○	○		

(注) 1 主任審査員表内の数字は担当コースを示す。

2 ○は、担当種目を示す。

水上の部 計時員任務分担表

班別	本部	氏名	訓練種目				
			溺者搬送	人命救助	水中結索	溺者救助	水中検索救助
班長	川崎市	(計時1)	○	○	○	○	○
副班長	横浜市	(計時2)	○		○		○
副班長	相模原市	(計時3)		○		○	
1	横須賀市	☆ (計時4)					
	大和市	(計時5)		○		○	○
	相模原市	(計時6)					
2	藤沢市	☆ (計時7)					
	秦野市	(計時8)	○	○		○	
	横浜市	(計時9)					
3	平塚市	☆ (計時10)					
	伊勢原市	(計時11)	○		○	○	
	川崎市	(計時12)					
4	小田原市	☆ (計時13)					
	横浜市	(計時14)	○		○		○
	海老名市	(計時15)					
5	鎌倉市	☆ (計時16)					
	座間市	(計時17)		○	○		○
	川崎市	(計時18)					

(注) ☆印は主任計時班員(計時表の記載者)を示す。

○印は担当種目を示す。

第54回消防救助技術関東地区指導会出場割当表(案)

一般財団法人全国消防協会関東地区支部

訓練種目		都県別											開催地	合計
		群馬	栃木	茨城	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	長野	静岡			
陸上の部	連携訓練													
	障害突破	1	1	3	4	4	3	4	1	2	2	1	26	
	ロープブリッジ救出	2	2	3	4	4	3	4	1	2	2	1	28	
	引揚救助	1	1	2	4	4	3	4	1	1	2	1	24	
	技術訓練	1											1	
合計		5	4	8	12	12	9	12	3	5	6	3	79	
連携訓練	溺者搬送	1	1	2	3	3	3	3	1	1	1	1	20	
	人命救助	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	14	
	溺者救助	1	1	2	2	3	3	2	1	1	1	1	18	
	水中結索	1	1	2	2	3	3	2	1	1	1	1	18	
	水中検索救助	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	14	
	技術訓練													
小計		5	5	8	9	13	15	9	5	5	5	5	84	
合計		10	9	16	21	25	24	21	8	10	11	8	163	

(注) ロープブリッジ渡過、はしご登はん、ロープ応用登はん、ほふく救出の4種目については関東地区指導会を経ず、都県各1名(チーム)が全国大会へ出場します。

神奈川県消防救助技術指導会中止時の 上位大会等への出場割当

別表 8

1 関東地区指導会への出場割当

(A2025年度 B2026年度 C2027年度 D2028年度 E2022年度 F2023年度 G2024年度)

		県	横浜	川崎	相模原	三浦半島	湘南	県西	県央
※1	協会加入率	1	0.2126	0.0937	0.0605	0.1312	0.1666	0.0933	0.2421
※2	各地区係数		4.4646	1.9677	1.2705	2.7552	3.4986	1.9593	5.0841
※3	出場枠	21	4	2	2	3	3	2	5
陸上の部	ロープブリッジ救出	4	ACDEFG	AD	F	ABCDG	BCEF	BEG	ABCDEFG
	障害突破	4	ABCDEFG	BEG	AD	BEF	ACDFG	C	ABCDEFG
	引揚救助	4	BCEF	CF	BEG	ACDFG	ABDEG	AD	ABCDEFG
	溺者搬送	3	BCDEG	E	C	A	ABF	DFG	ABCDEFG
	人命救助	1	G	F	D	E	C	B	A
	溺者救助	2	AB	D	E	B	G	CF	ACDEFG
	水中結索	2	ADF	C	B	G	E	F	ABCDEG
	水中検索救助	1	A	B	G	C	D	E	F

算式

※1 協会加入率 = (各地区の協会加入本部数 ÷ 県加入本部数 + 各地区の協会加入会員数 ÷ 県加入会員数) ÷ 2
 なお、加入本部数は当年度4月1日現在、会員数は前年度4月1日現在の消防職員数(実員)

※2 各地区係数 = (県出場枠 × 各地区協会加入率)

※3 出場枠 = 各地区係数の小数点以下を四捨五入し出場枠を算定するが、各地区出場枠の合計が、県出場枠を超えた場合は、繰上げ幅の多い地区から減じ、満たない場合は、切捨て幅の多い地区を増やすこととする。

- ① 上記算式から算出した各地区ごとの出場枠数に見合うように輪番を割り振り、AからGへ年度ごとに順次移行する。また、陸上の部、水上の部について、各地区最低1人(チーム)を割り当てることとする。
- ② 地区内で該当者(チーム)がない場合は、前年度の県指導会成績上位者(チーム)の属する地区から優先して選出するが、各種目については、原則、同一地区から1名(チーム)の出場とする。
- ③ 関東地区指導会中止時の全国消防救助技術大会の出場については、①、②により選出された者(チーム)のうち、前年度の県指導会成績上位者(チーム)の属する地区から優先して選出する。

2 全国消防救助技術大会への出場割当

(A2025年度 B2026年度 C2027年度 D2028年度 E2022年度 F2023年度 G2024年度)

	県 割当数	横浜	川崎	相模原	三浦半島	湘南	県西	県央
ロープブリッジ渡過	1	A	B	C	D	E	F	G
はしご登はん	1	F	G	A	B	C	D	E
ほふく救出	1	D	E	F	G	A	B	C
応用登はん	1	B	C	D	E	F	G	A

① AからGへ年度ごとに順次移行する。

② 輪番地区で該当者(チーム)がない場合は、前年度の県指導会成績上位者(チーム)の属する地区から優先して選出する。

服装の指定

別表 9

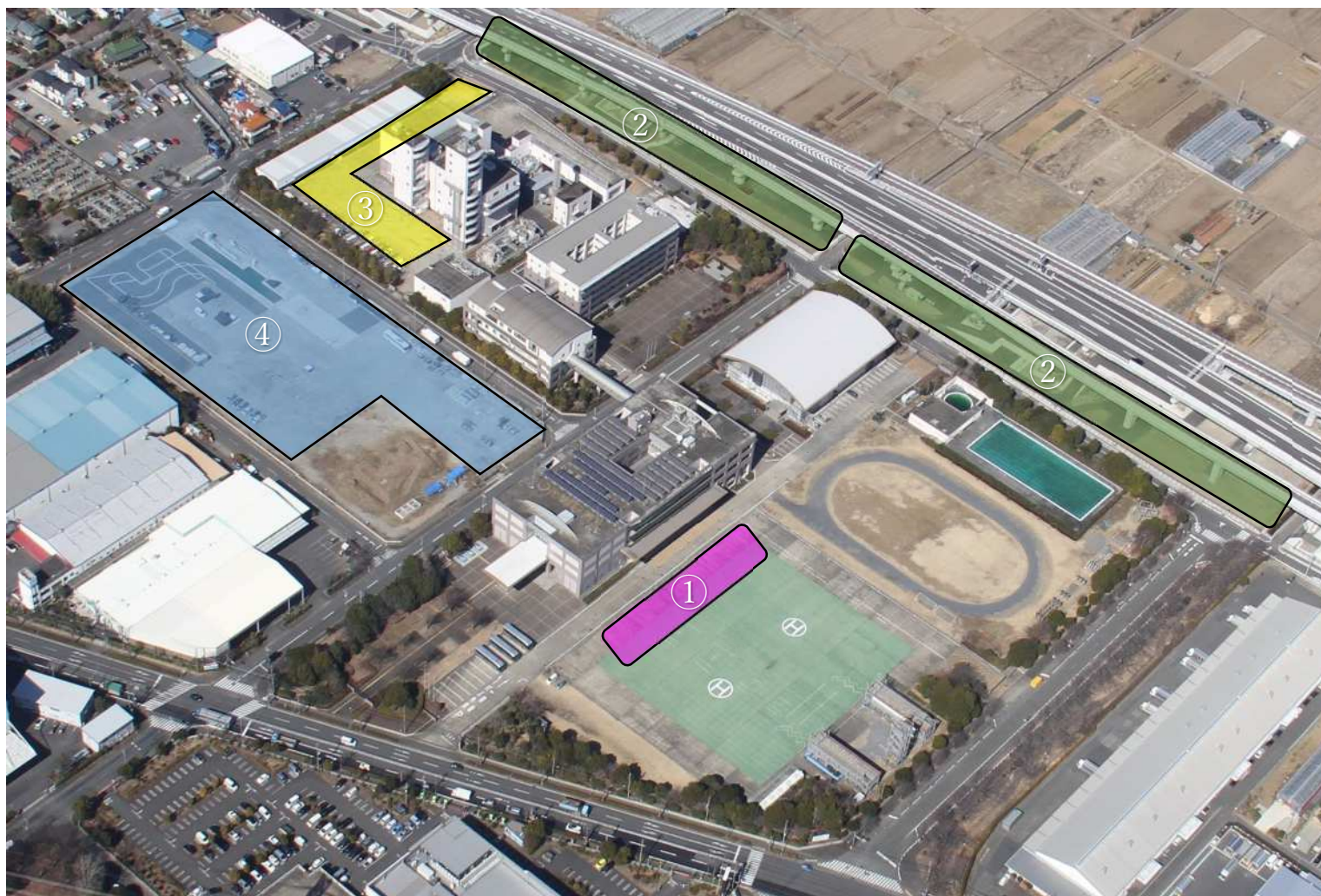
班別等	訓練時服装	腕章等
来賓	指定なし	胸花
指導会委員 指導会役員	各本部夏制服・夏制帽・短靴	胸花
隊員	【陸上】 通常各本部で救助活動に着用している服装 ゼッケン着用（開・閉会式は着用しない）	
	【水上】 夏制服・夏制帽・短靴（開・閉会式、表彰式） サンダル又は運動靴（屋内用）・水泳帽（溺者搬送の要救助者を除く）	
審査	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・救助ハーネス・ヘルメットキャップ※	審査 スターター
	【水上】 白ワイシャツ（半袖）・夏活動服ズボン 審査員用アポロキャップ※・運動靴	
訓練施設	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・救助ハーネス、ヘルメットキャップ※	施設
	【水上】 夏活動服（長袖）・施設班用アポロキャップ※・運動靴	
計時	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・ヘルメットキャップ※	計時
	【水上】 夏活動服（半袖）・計時班用アポロキャップ※・運動靴	
安全管理	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・救助ハーネス・安全管理ベスト※・ヘルメットキャップ※	安全管理
	【水上】 夏活動服（半袖）・安全管理用アポロキャップ※・運動靴	
進行	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・短靴	進行
招集	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・短靴	招集
総務	【運営職員】 私服	本部
	【国旗担当】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・救助ハーネス	
広報	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・編上靴・救助ハーネス	広報
	【水上】 夏活動服（半袖）・アポロキャップ・運動靴	
受付	夏制服（半袖）・夏制帽・短靴	受付
表彰	夏制服（半袖）・夏制帽・短靴・白手袋	表彰
通信	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・短靴	通信
連絡	【陸上】 夏活動服（長袖）・保安帽・アポロキャップ・編上靴・運動靴	連絡
	【水上】 白ワイシャツ（半袖）・夏活動服ズボン・アポロキャップ・運動靴	
駐車場	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・運動靴	駐車場
救護	救急出場時の服装	救護
記録	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・短靴	記録
会場設営	夏活動服（半袖）・アポロキャップ・運動靴	設営
演奏	特別演技の服装	

- (注) 1 安全管理班班員は警笛を携行願います。
 2 作業を伴う班については、作業用手袋（革手袋等）を携行願います。
 3 ※印のヘルメットに装着するキャップ及びアポロキャップ（審査・施設・計時・安全管理）については、当日事務局で準備いたします。
 4 水上の部の各係員は、短靴（水上会場以外の移動時）を携行願います。
 5 訓練施設【水上】で指定された「水中施設担当」については、別途お知らせします。
 6 救助ハーネスは極力各本部から持参願います。準備できない場合は事務局まで御連絡ください。
 7 各班必要に応じて雨衣を準備願います。
 8 サングラスの使用については各班計画に記載します。
 9 詳細は各班計画を参照してください。

会場全体図



駐車場配置図



① 第1駐車場（乗用車）

- ・消防長、来賓
- ・配慮を要する来場者

② 第2駐車場（乗用車）

- ・訓練役員、指導会出場隊員
- ・会場設営業者

③ 第3駐車場（バス・トラック）

- ・大型バス、マイクロバス
- ・資機材搬送車

④ 第4駐車場（乗用車・二輪）

- ・一般来場者

- ※ 事前に配布された駐車券に記載されている駐車番号の場所に従って車両を停めてください。
- ※ 開門は「7時15分」となっております。早めに来ても場内に駐車することはできません。
- ※ 路上や周辺施設等（パチンコ店、飲食店）への駐車は絶対にしないでください。
(各地区代表の本部職員による巡回を実施します)

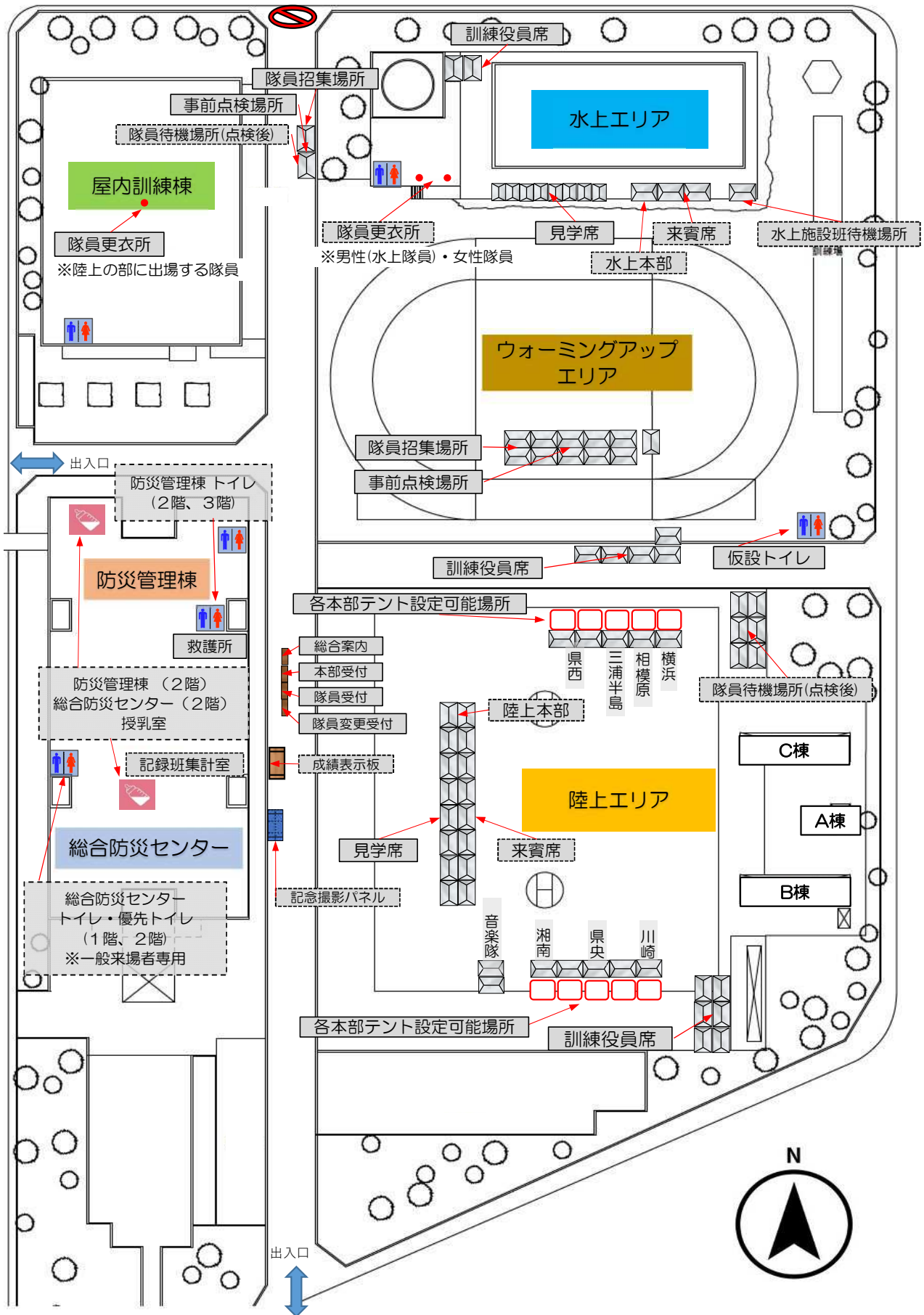


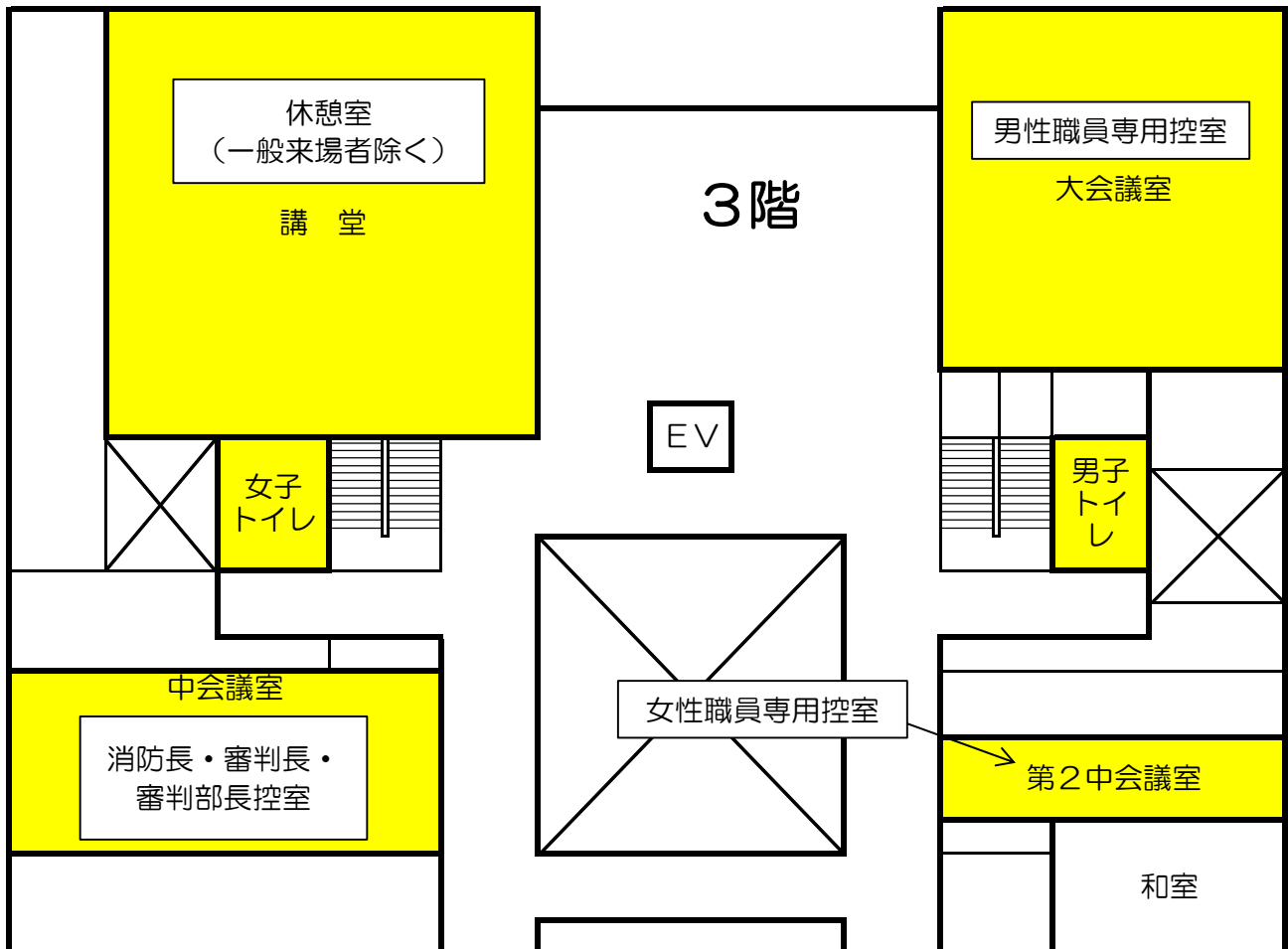
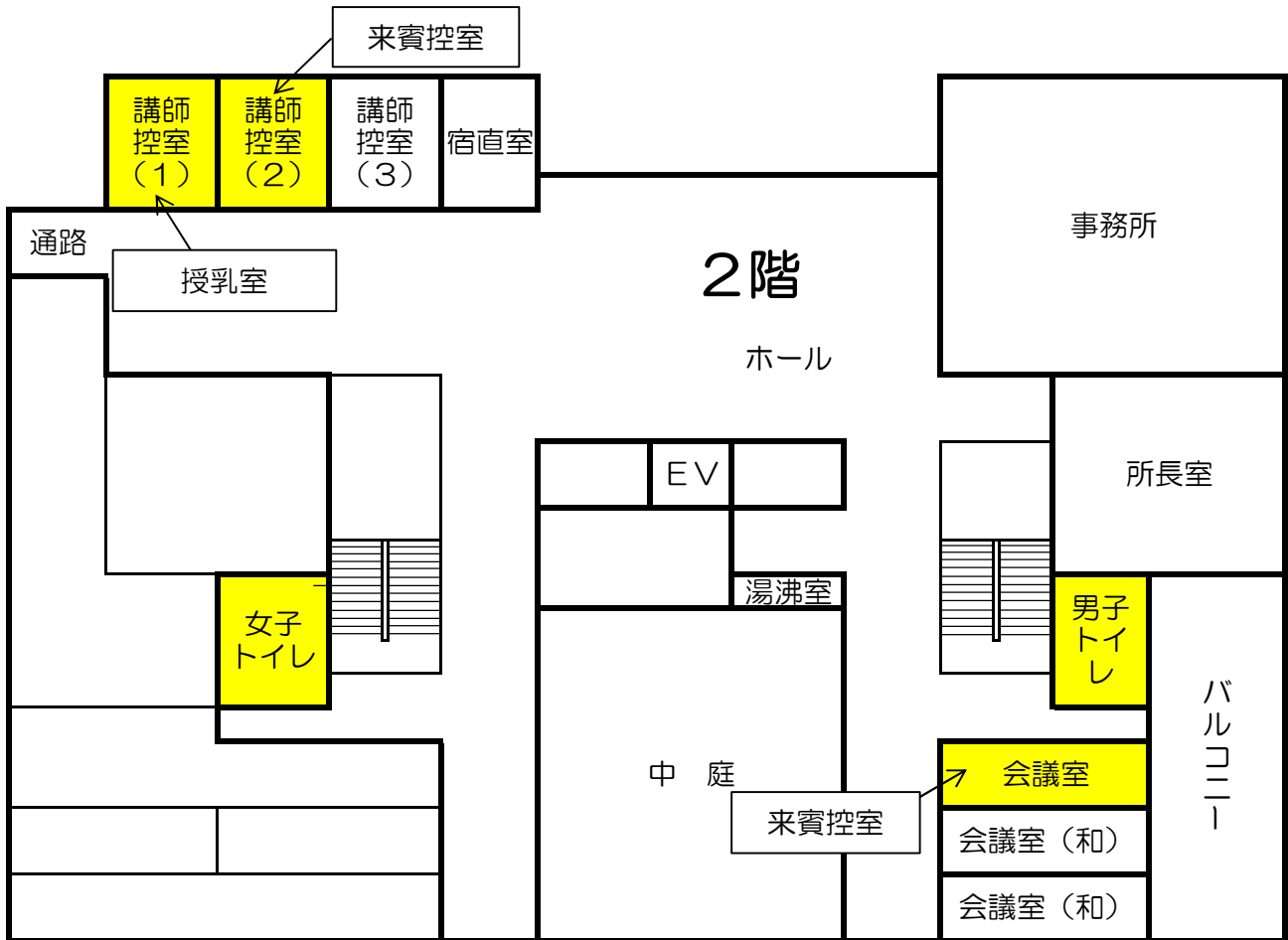
⑤ 第5駐車場（乗用車）
ジ アウトレット湘南平塚
（平塚市大神八丁目1番1号）

・一般来場者

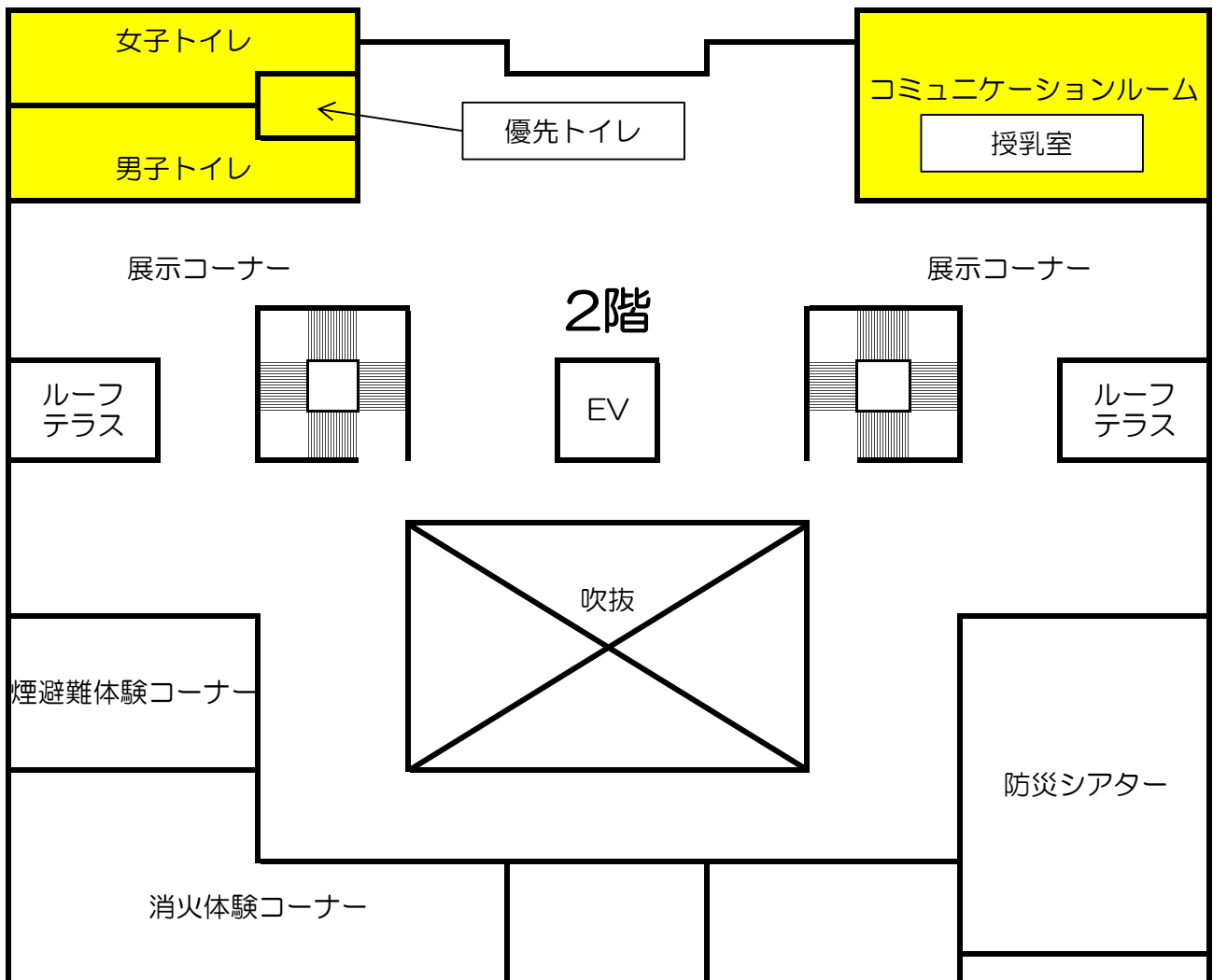
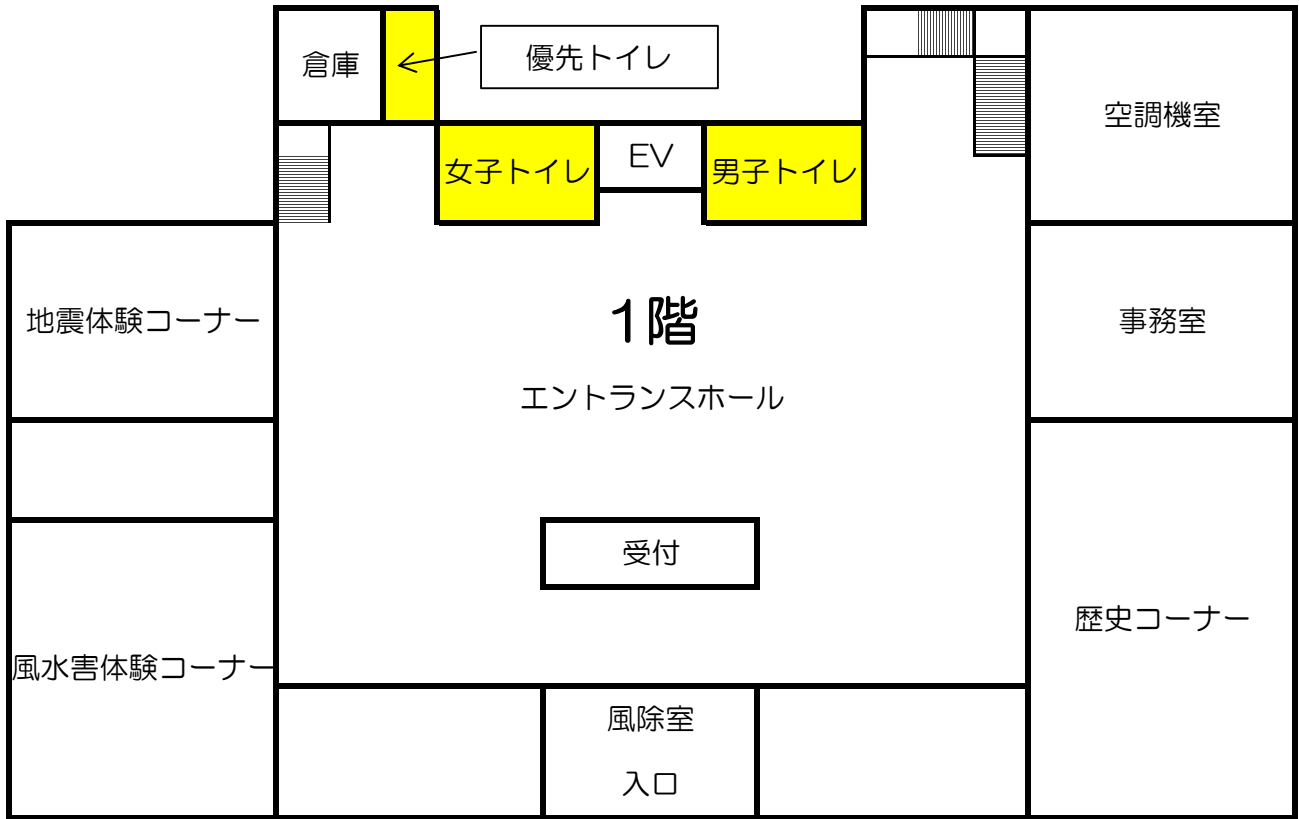
- ※ 第4駐車場満車時の一般来場者用駐車場（無料）となります。
- ※ ジ アウトレット湘南平塚から神奈川県消防学校まで徒歩30分程度です。
- ※ シャトルバス等の運行はありません。

会場詳細図



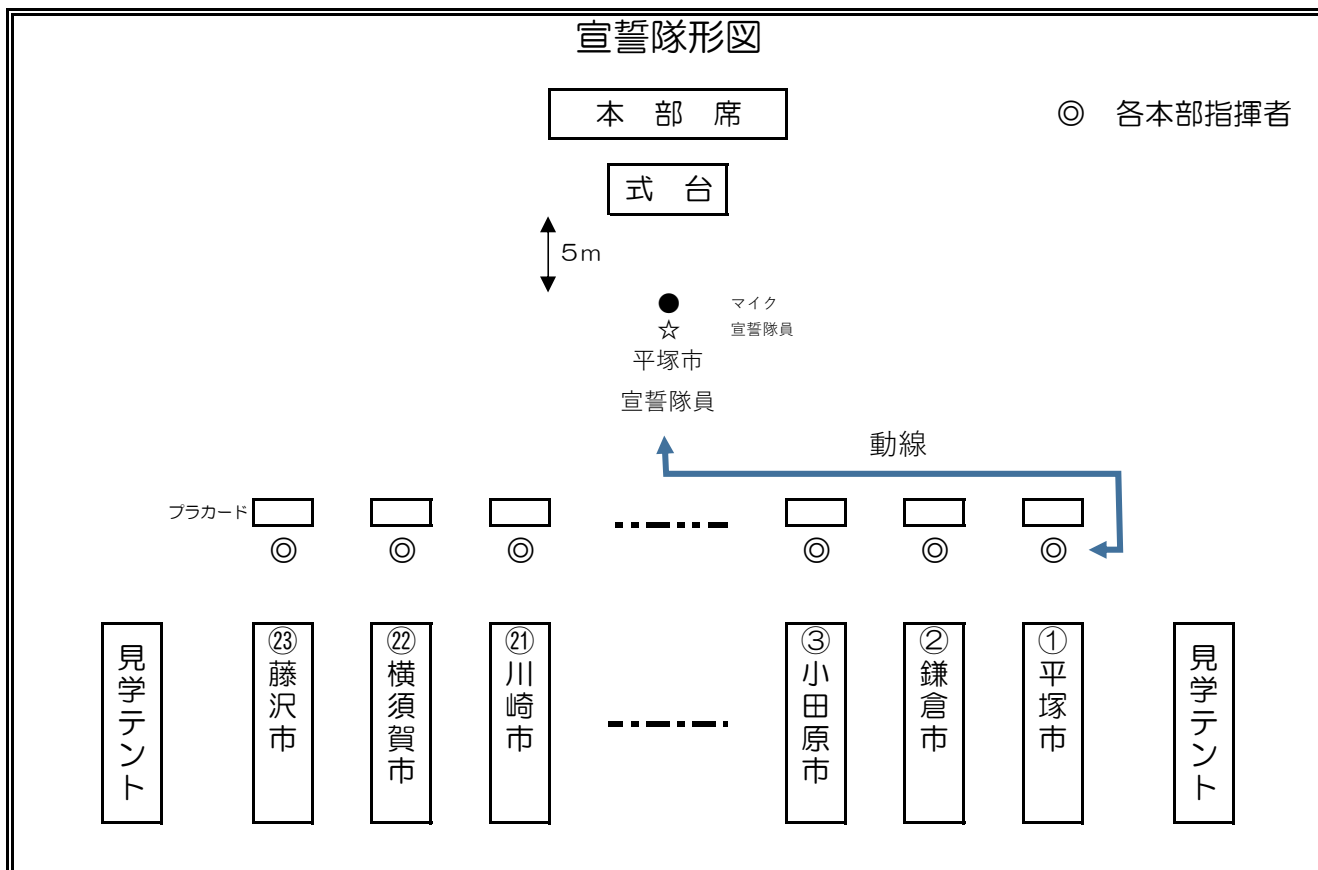
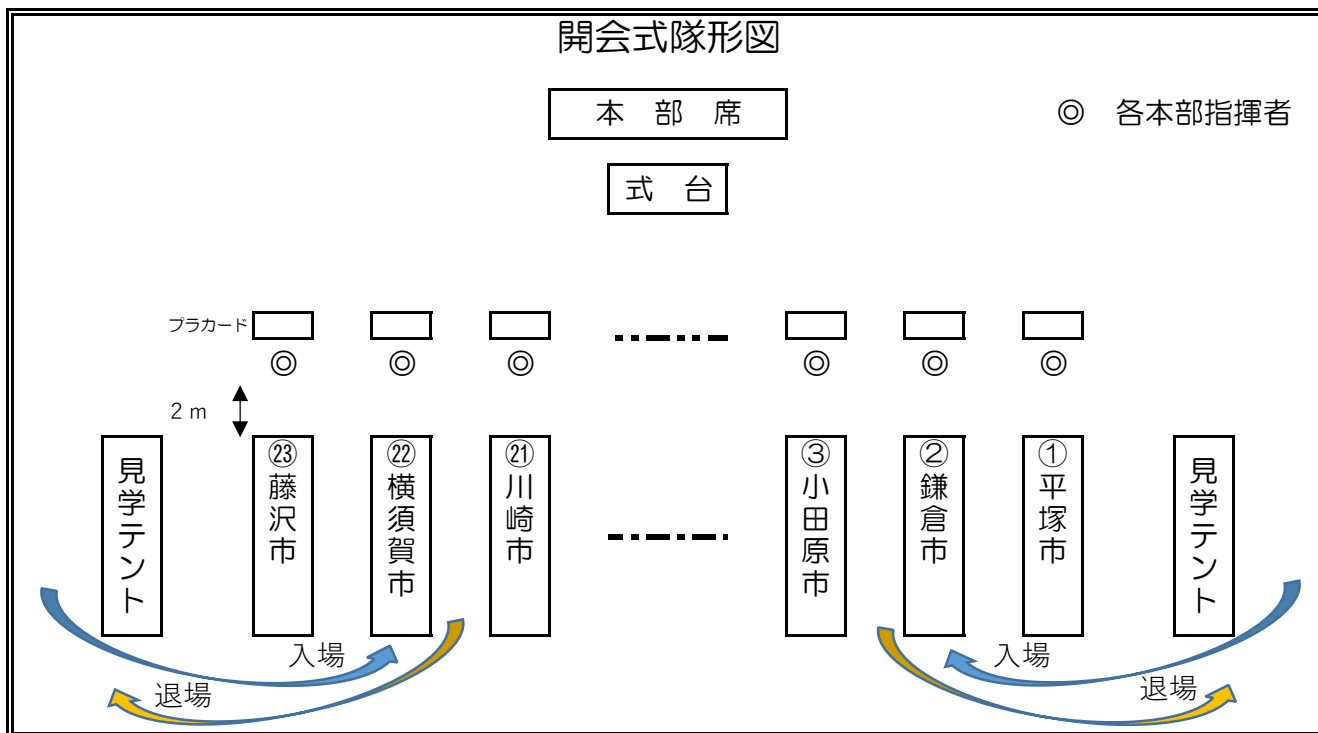


総合防災センター内案内図



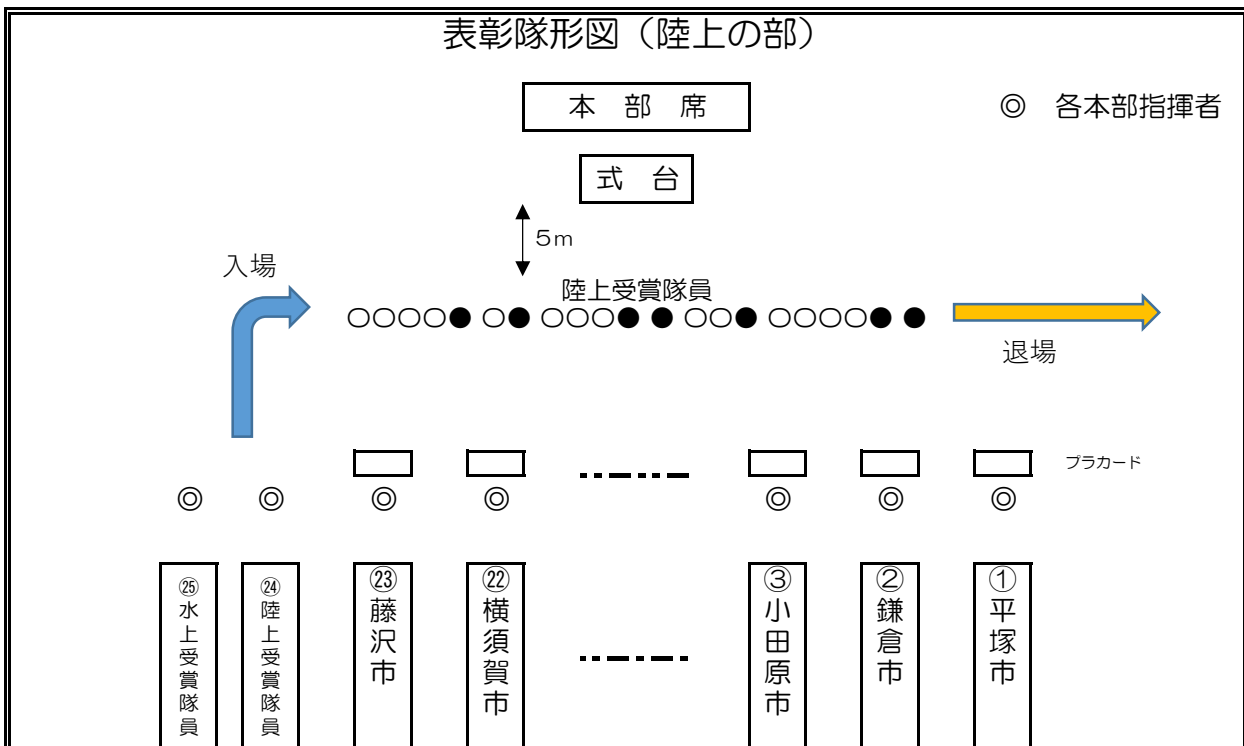
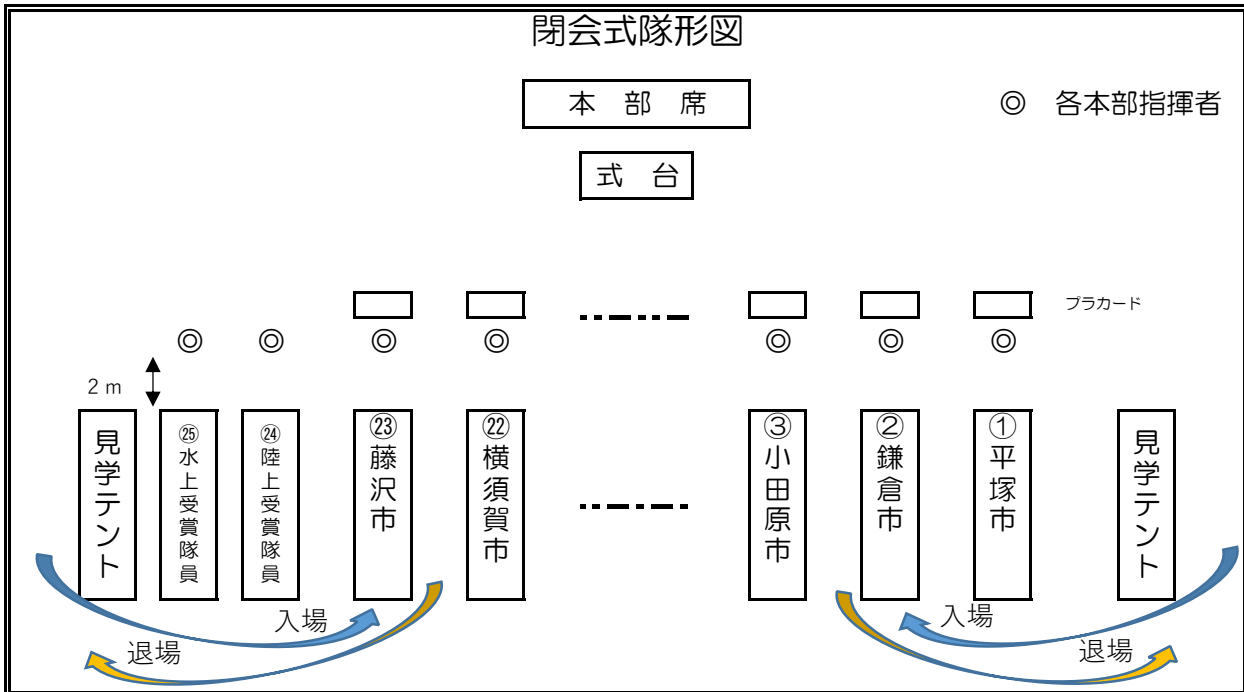
開会式整列順序

- ①平塚市 ②鎌倉市 ③小田原市 ④茅ヶ崎市 ⑤逗子市 ⑥相模原市 ⑦厚木市 ⑧大和市 ⑨秦野市
 ⑩伊勢原市 ⑪座間市 ⑫海老名市 ⑬綾瀬市 ⑭大磯町 ⑮葉山町 ⑯湯河原町 ⑰箱根町 ⑱二宮町
 ⑲愛川町 ⑳横浜市 ㉑川崎市 ㉒横須賀市 ㉓藤沢市



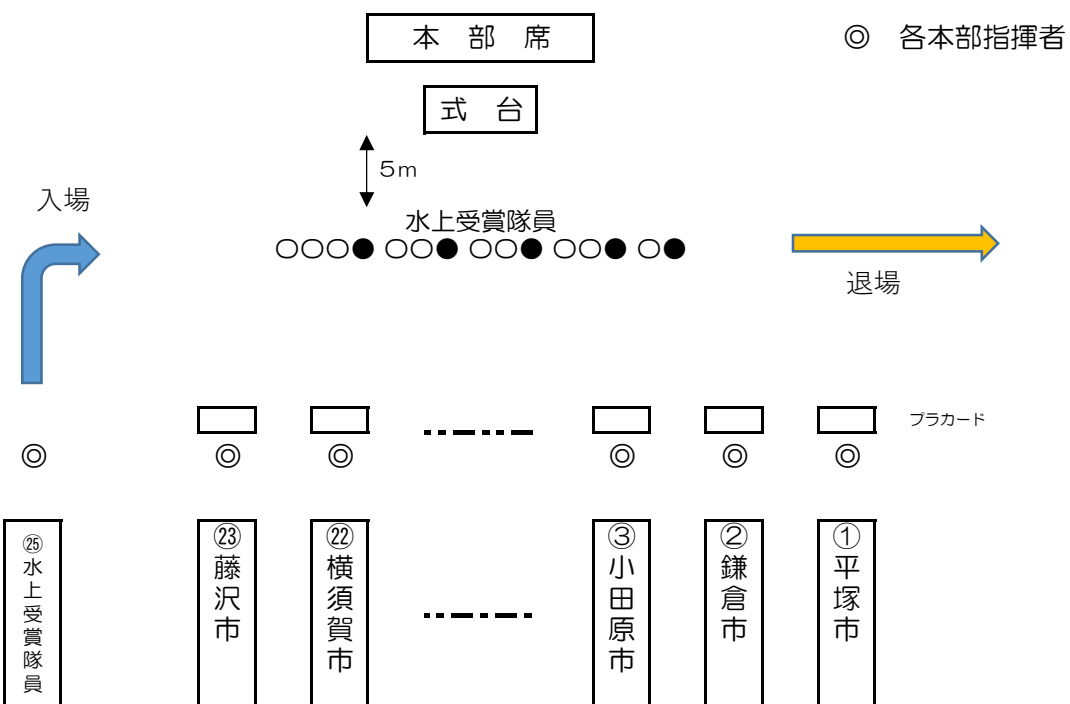
閉会式整列順序

- ①平塚市 ②鎌倉市 ③小田原市 ④茅ヶ崎市 ⑤逗子市 ⑥相模原市 ⑦厚木市 ⑧大和市 ⑨秦野市
 ⑩伊勢原市 ⑪座間市 ⑫海老名市 ⑬綾瀬市 ⑭大磯町 ⑮葉山町 ⑯湯河原町 ⑰箱根町 ⑱二宮町
 ⑲愛川町 ⑳横浜市 ㉑川崎市 ㉒横須賀市 ㉓藤沢市 ㉔陸上受賞隊員 ㉕水上受賞隊員



※受賞者整列順（●は各種目の表彰状受領者）
 （はしご登はん、引揚救助、ほふく救出、ロープブリッジ渡過、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、障害突破）
 ※陸上受賞隊員はアナウンスの号令により、㉔の整列位置より式台前に移動し受領する。

表彰隊形図（水上の部）



※受賞者整列順（●は各種目の表彰状受領者）

（溺者搬送、人命救助、水中結索、溺者救助、水中検索救助）

※陸上受賞隊員が受領し、退場後に水上受賞隊員はアナウンスの号令により、⑤の整列位置より式台前に移動し受領する。

陸上訓練施設概要

1 訓練塔 全景



C塔

A塔

B塔



2 A塔施設概要

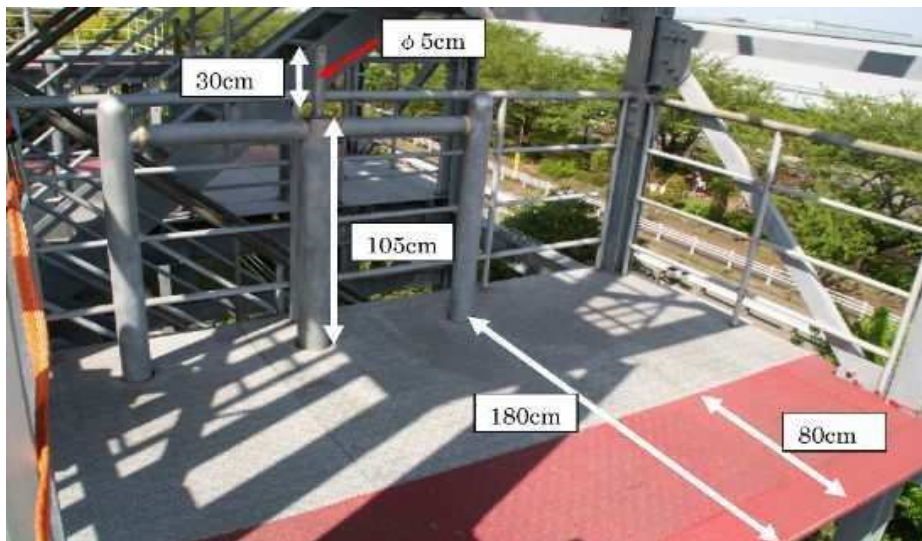
(1)はしご登はん (写真1)



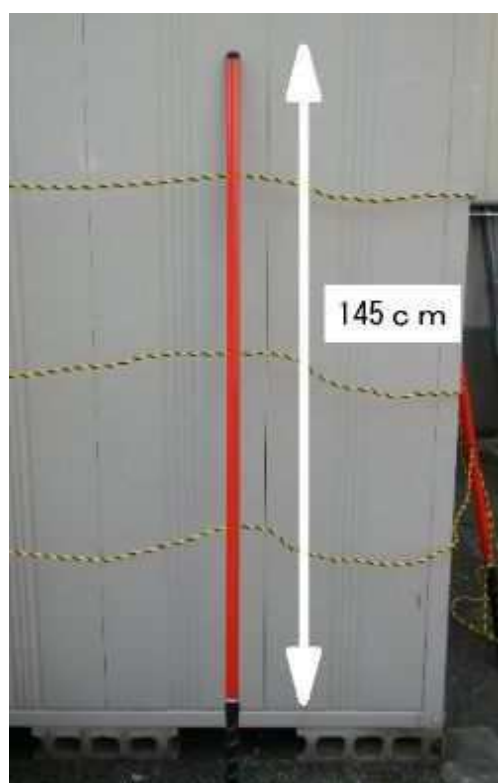
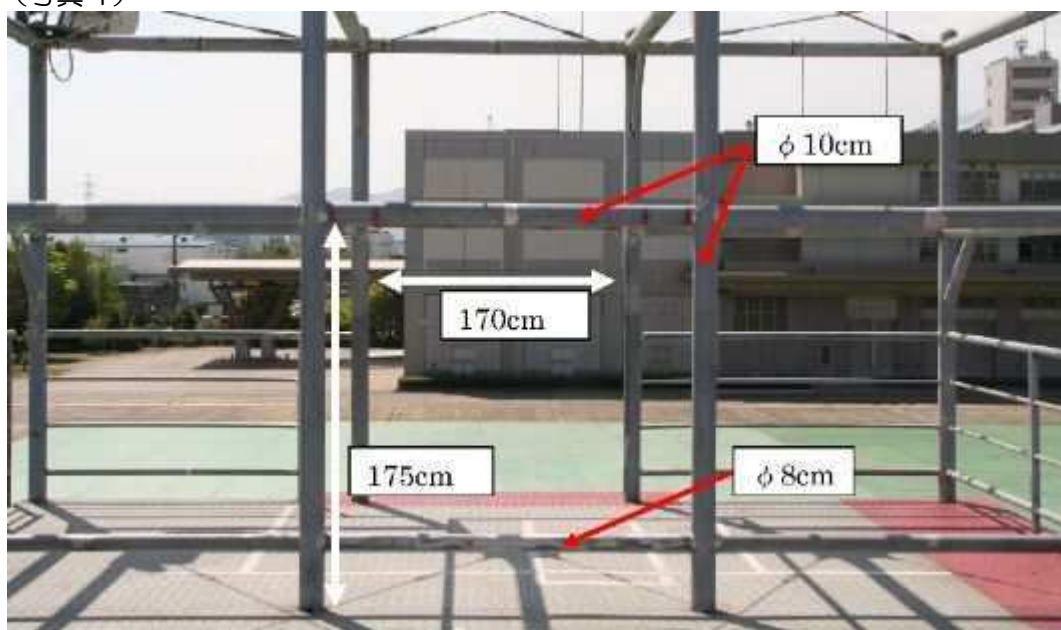
(2)ロープ応用登はん (写真2)



(3)障害突破 (写真3)



2 B・C塔施設概要
(1)引揚救助(写真4)



(2) 障害突破・ほしく救出 (写真5)



C塔 煙道入口



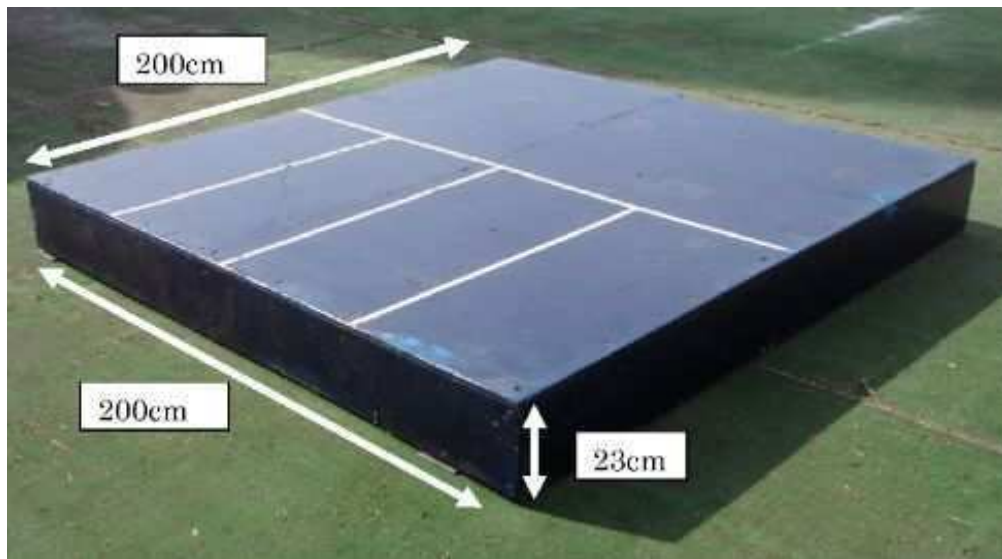
B塔 煙道入口



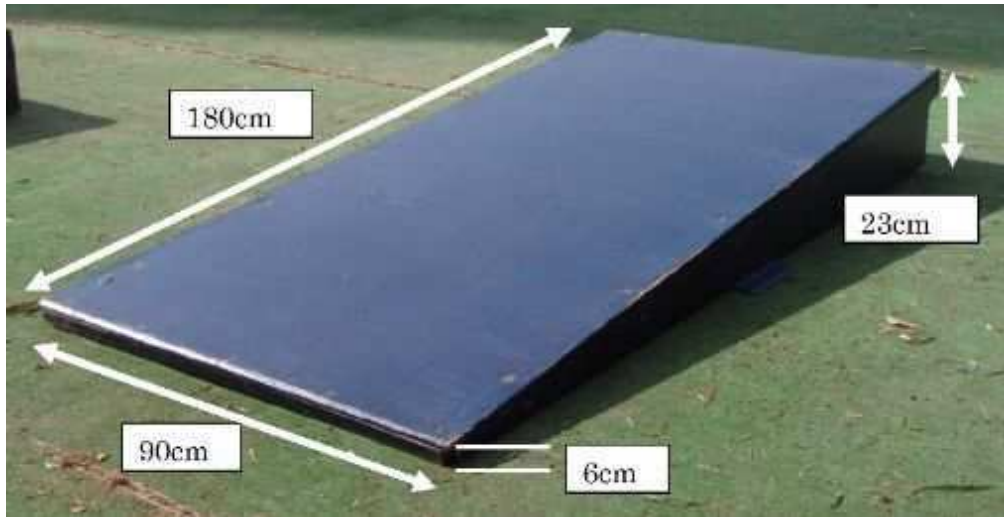
C塔 煙道出口



B塔 煙道出口



煙道入口台



煙道 出口台



スロープ 入口

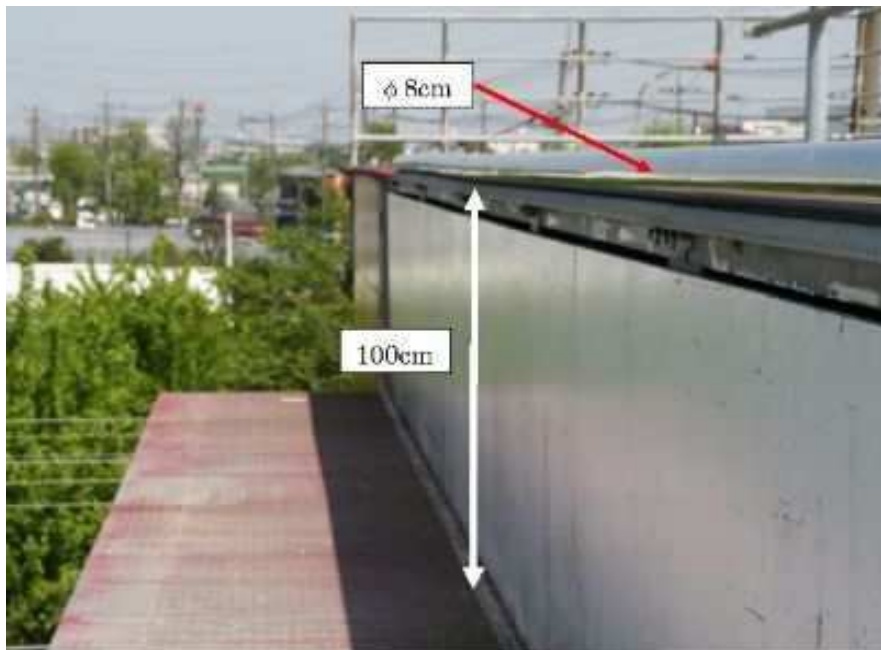


スロープ 要救助者側



ほふく台

(3)ロープブリッジ渡過・ロープブリッジ救出（写真6）



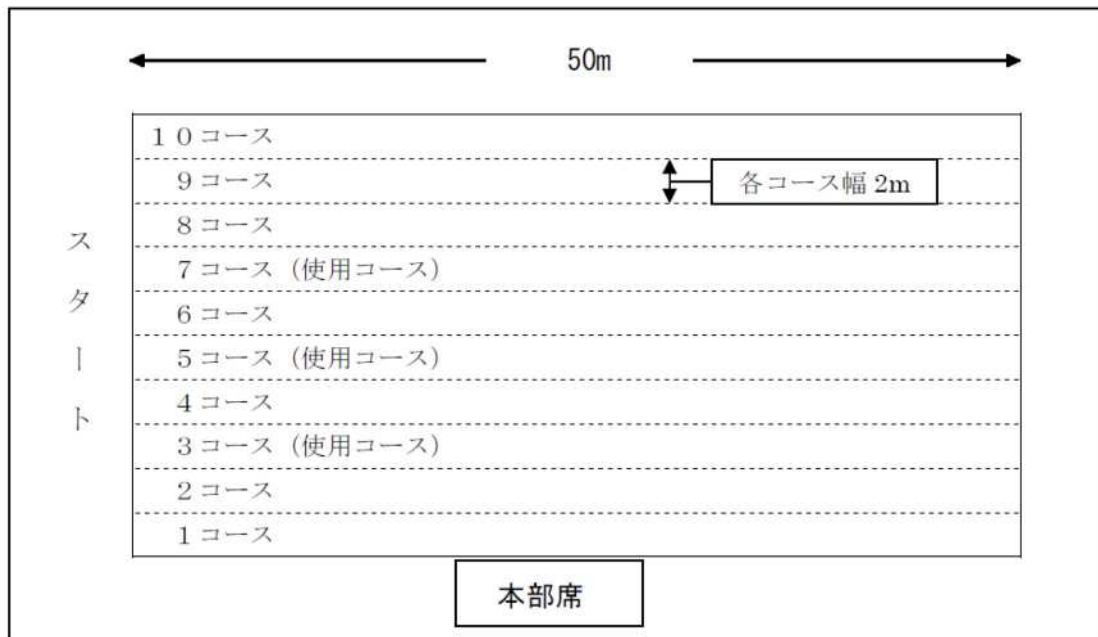
(4)引揚救助（雨天時）（写真7）



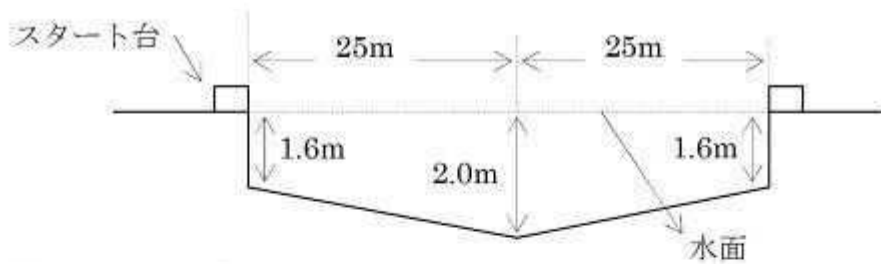
滑り止めカバー 表面拡大

水上訓練施設概要

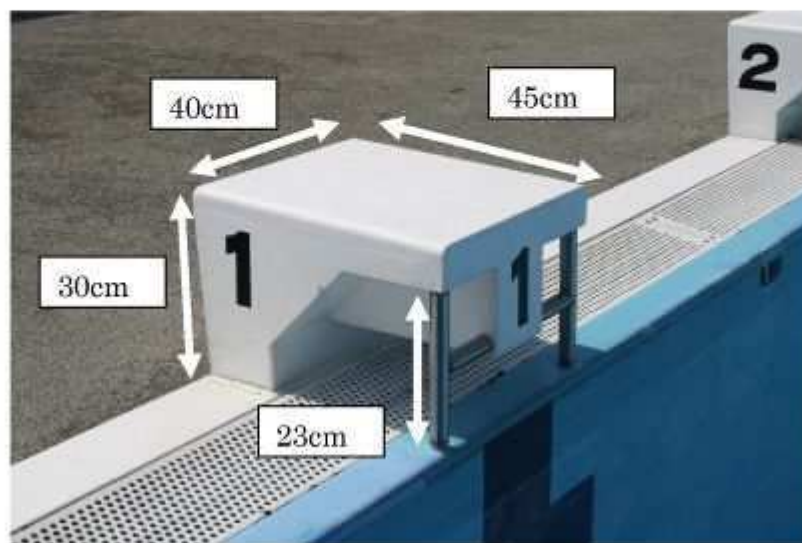
プール施設概要 (図1)



プール断面図 (図2)



スタート台 (写真8)



種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
引揚救助	1							
	2							
	3							

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦 で記入:1990 4 1)			個人種目 全国大会 出場経験 の有無
はしご登はん		1							
		2							
		3							
ほふく救出	※ 1 ・ 2	1							
	※ 1 ・ 2	2							
	※ 1 ・ 2	3							

注 ほふく救出については、各消防本部希望コースを指定してください
(※印の1は1コース:右入り、2は2コース左入り)

注 陸上の部基礎訓練については第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者は全国消防救助技術大会実施計画の出場制限により全国消防救助技術大会へ出場することはできません。

種目別出場隊員名簿

種目別	区分 チーム(人員)数	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦 で記入:1990 4 1)			個人種目 全国大会 出場経験 の有無
ロープブリッジ渡過	1							
	2							
	3							
ロープ応用登はん	1							
	2							
	3							

注 陸上の部基礎訓練については第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者は全国消防救助技術大会実施計画の出場制限により全国消防救助技術大会へ出場することはできません。

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
ロープブリッジ救出	1							
	2							
	3							

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数 (優先順位)	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
障害突破	※ 1 ・ 2	1						
	※ 1 ・ 2	2						
	※ 1 ・ 2	3						

注 障害突破については、希望コースを指定してください
(※印の1は1コース:右入り、2は2コース左入り)

種目別出場隊員名簿

種目別	区分 チーム(人員)数	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦 で記入:1990 4 1)		
溺者搬送	1						
	2						
	3						

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
人命救助	1							
	2							
	3							
水中結索	1							
	2							
	3							

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
溺者救助	1							
	2							
	3							

種目別出場隊員名簿

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1970 4 1)		
水中検索救助	1							
	2							
	3							

服装（同一仕様）に係る報告書（陸上の部）

都県名		担当者	課・係	
			担当者氏名	
消防本部名			TEL	
			Eメール	

訓練種目名				
訓練隊員 階級及び氏名	階級	訓練隊員氏名	階級	訓練隊員氏名

＜報告の理由＞	
(例文) 当消防本部については、令和〇〇年〇月〇日付けで〇〇消防本部並びに△△消防本部の合併により（消防本部内の救助服仕様変更により）、同一仕様が図れないもの。	
備考	

※「報告理由」については、例文を参考に簡潔に記載してください。

※ 開催地事務局より確認の連絡をさせていただきます。

※ 電子メールにて回報してください。

(No.) 隊員変更届出書

消防本部名		
陸上・水上(○印)	種目	組
		コース

変更前(該当者のみ)			変更後(該当者のみ)						
ゼッケン (陸上のみ)	階級	氏名	ゼッケン (陸上のみ)	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1970 4 1)		

- 注1 受付時間は、全種目とも8時45分までとします。
- 注2 階級欄は、消防士は「士」、消防副士長は「副士長」、消防士長は「士長」、消防司令補は「司令補」と記入してください。
- 注3 生年月日欄は西暦で記入し、年齢の基準日は、指導会当日の満年齢とします。
- 注4 棄権の場合は、変更後の欄に「棄権」と記入してください。

※ 陸上の部基礎訓練については第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者は全国消防救助技術大会実施計画の出場制限により全国消防救助技術大会へ出場することはできません。

受付署名欄

配布先 チェック欄	受付	進行	招集	審査	計時	記録	表彰
担当者署名							

(受付時間～)